

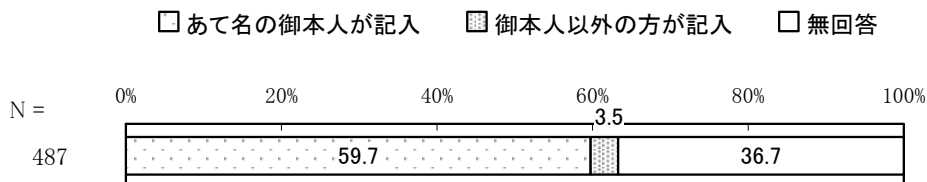
第3章 若年者調査の結果

1 回答者の基本属性

(1) 調査票記入者

Q. 調査票を記入された方をお教えてください。
<あてはまる方に○を付けてください。>

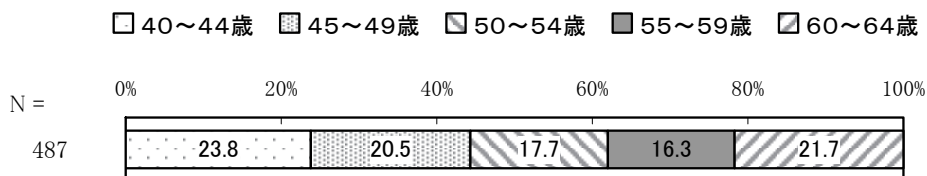
調査票の記入者は「あて名の御本人が記入」が 59.7%、「御本人以外の方が記入」が 3.5%となっています。



(2) 年齢

問1 Q 1. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の年齢をお教えてください。
<○は1つ>

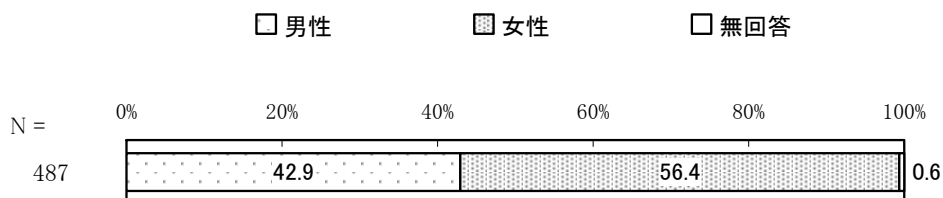
回答者の年齢は、「40～44歳」が 23.8%で最も高く、次いで「60～64歳」が 21.7%、「45～49歳」が 20.5%となっています。



(3) 性別

問1 Q 2. あなたの性別をお教えてください。<○は1つ>

回答者の性別は、「男性」が 42.9%、「女性」が 56.4%となっています。

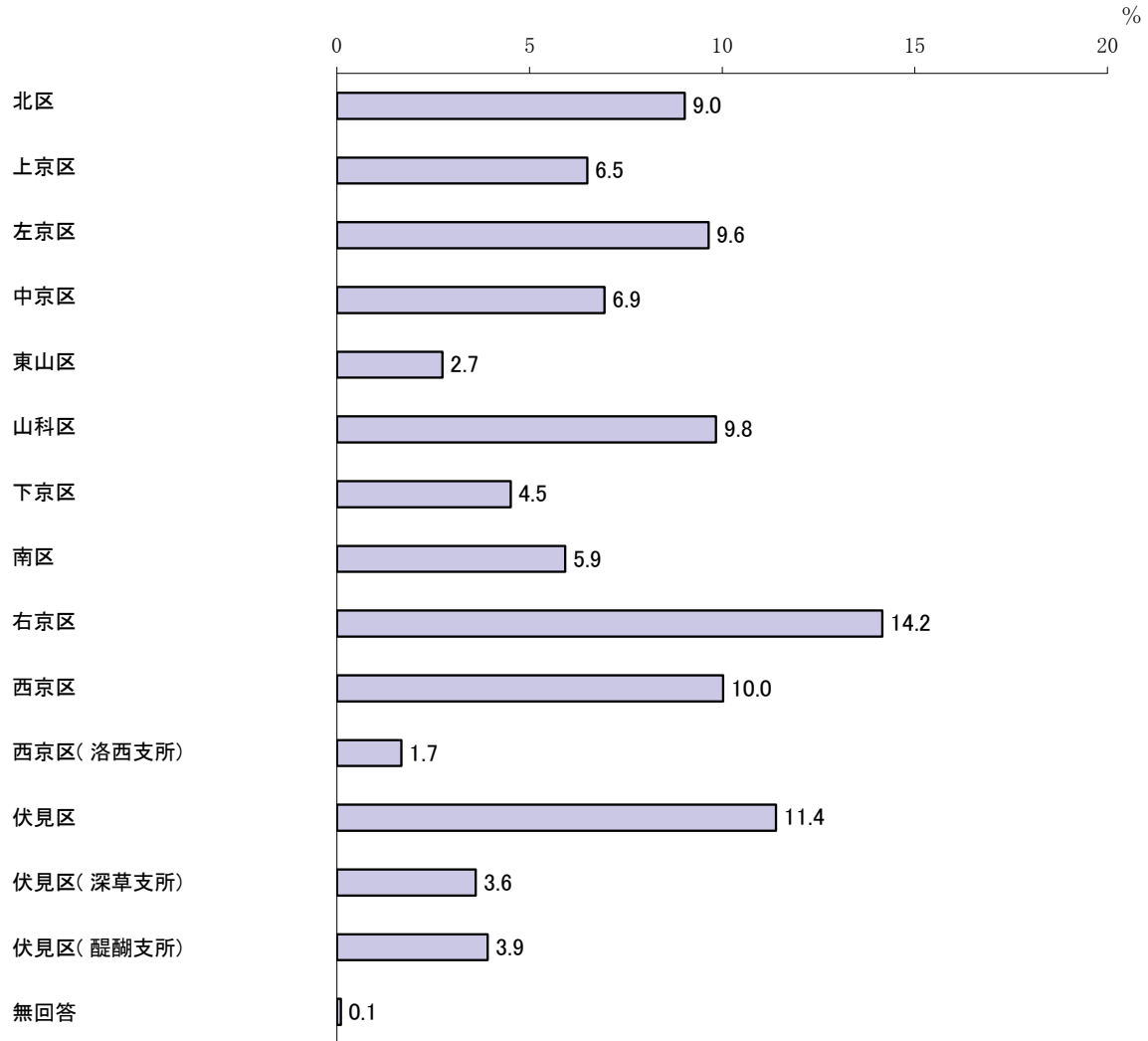


(4) 回答者の属する行政区・支所

問1 Q3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。〈〇は1つ〉

回答者の居住区・支所は、「右京区」が14.2%で最も高く、次いで「伏見区」が11.4%、「西京区」が10.0%となっています。

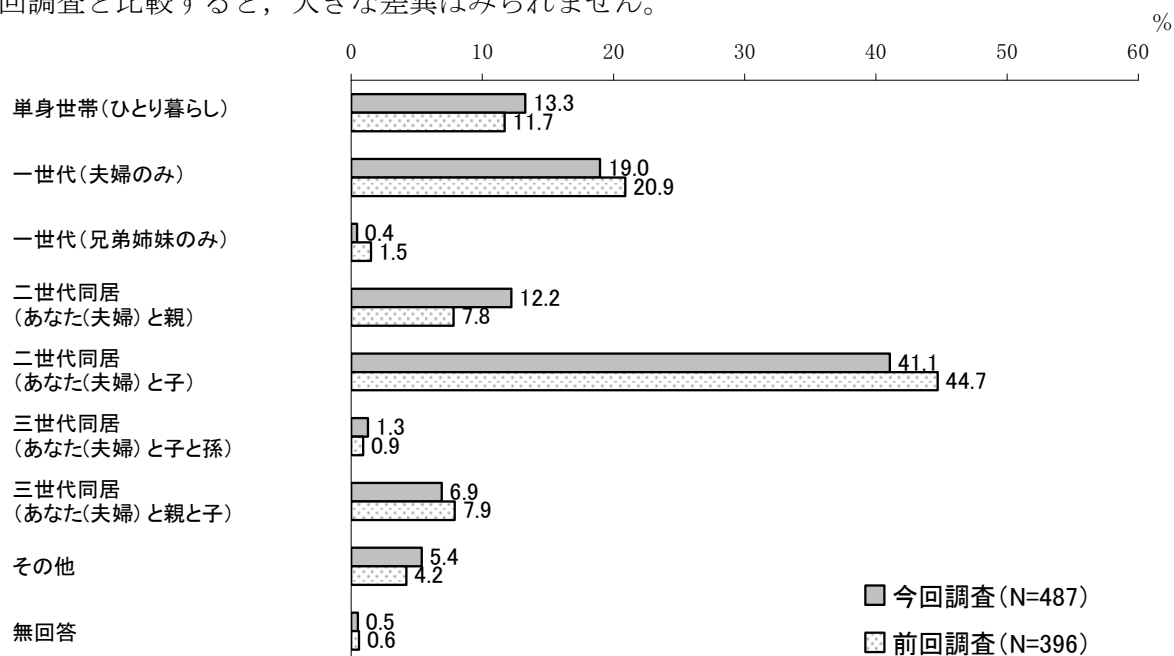
N=487



(5) 家族構成

問1Q4. あなたの同居者（家族）の構成をお教えてください。〈〇は1つ〉

回答者の家族構成については、「二世帯同居（あなた（夫婦）と子）」が41.1%で最も高く、次いで「一世代（夫婦のみ）」が19.0%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が13.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

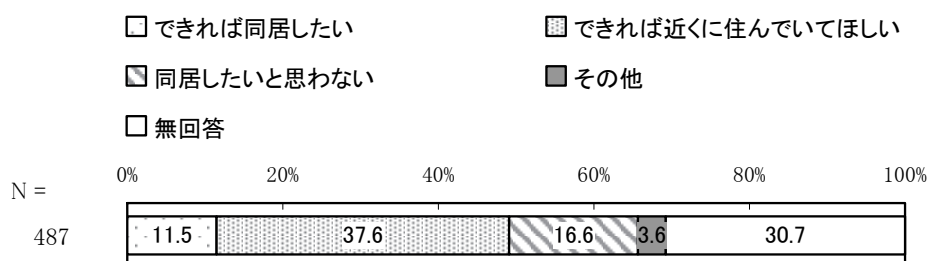


(6) 子との同居意向

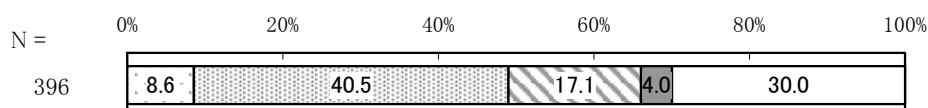
問1Q4-1. 子がおられる方にお聞きます。子と同居したい（し続けたい）ですか。〈〇は1つ〉

子がいる人に、子との同居意向をたずねたところ、「できれば近くに住んでほしい」が37.6%で最も高く、次いで「同居したいと思わない」が16.6%、「できれば同居したい」が11.5%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



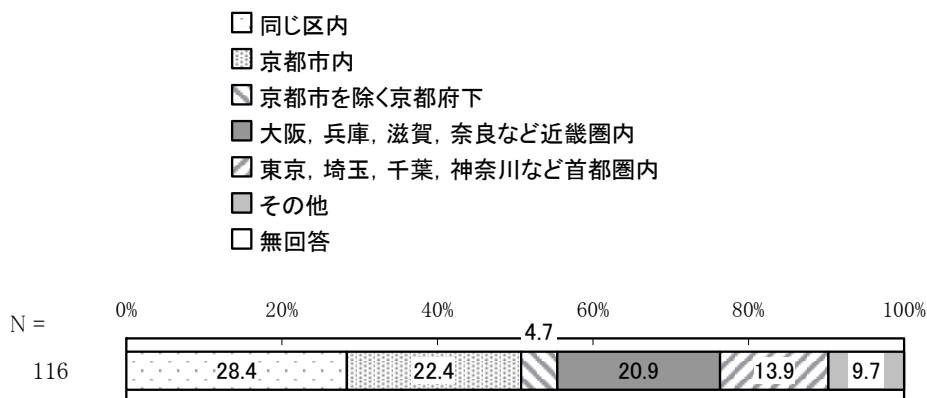
【前回調査（平成25年）】



(7) 最も近居の子の居住地

問1Q4-2. 子がおられる方で、子と同居されていない方にお聞きします。子はどこに住んでおられますか。＜最も近くにお住まいの子の居住地1つに○＞

子がいる人で子と同居していない人に、最も近居の子の居住地をたずねたところ、「同じ区内」が28.4%で最も高く、次いで「京都市内」が22.4%、「大阪、兵庫、滋賀、奈良など近畿圏内」が20.9%となっています。

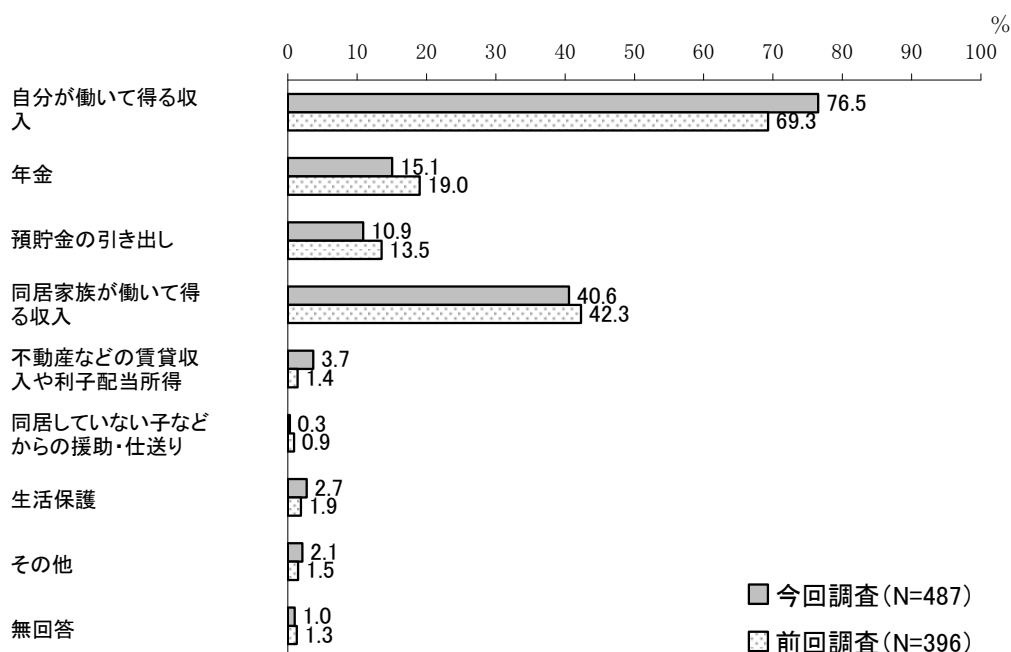


(8) 生活費の収入源

問1Q5. あなたは生活費をどのようにして得ていますか。＜○は3つまで＞

生活費の収入源については、「自分が働いて得る収入」が76.5%で最も高く、次いで「同居家族が働いて得る収入」が40.6%、「年金」が15.1%となっています。

前回調査と比較すると、「自分が働いて得る収入」が7.2ポイント増加しています。



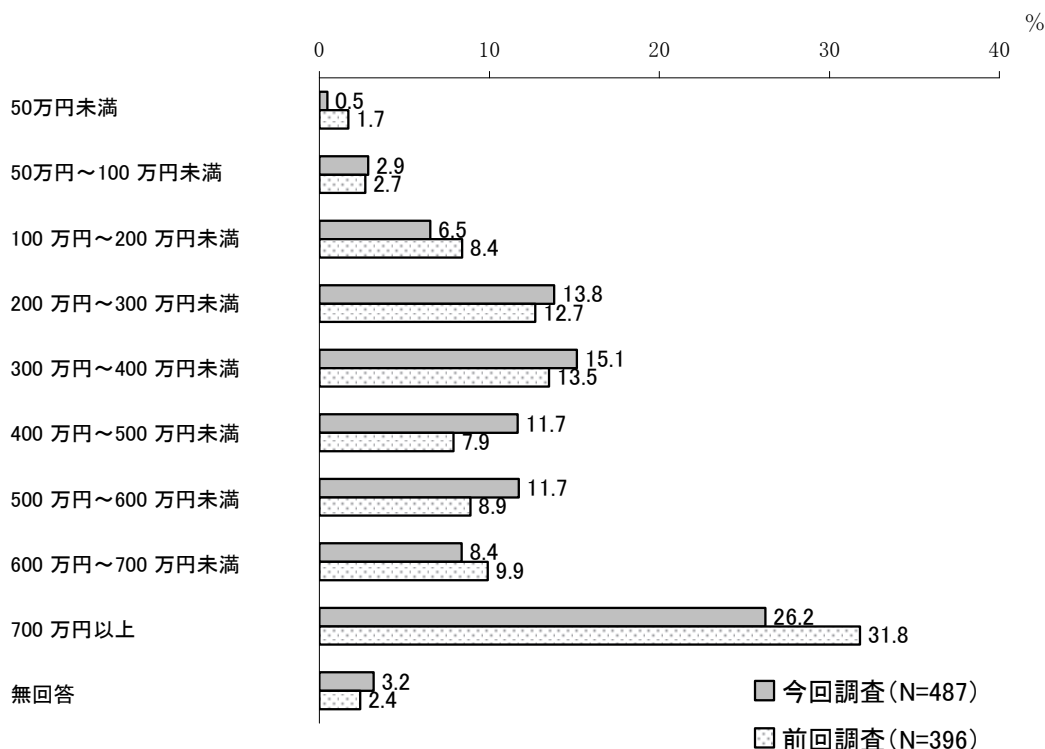
(9) 世帯の年間総収入

問1Q6. あなたの世帯の年間総収入（年金収入を含む。税込）はどのくらいですか。<○は1つ>

世帯の年間総収入については、「700万円以上」が26.2%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が15.1%、「200万円～300万円未満」が13.8%となっています。

前回調査と比較すると、「700万円以上」が5.6ポイント減少しています。

年齢別でみると、40～59歳では、「700万円以上」が最も高く、「60～64歳」では「300万円～400万円未満」が最も高くなっています。



【年齢別】

単位：%

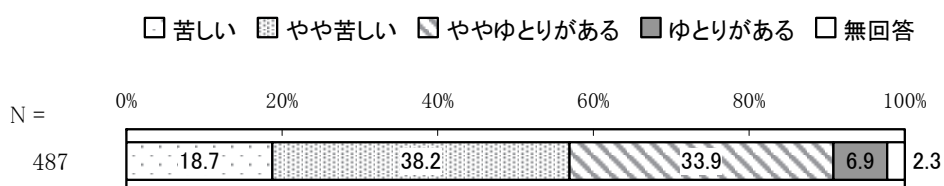
区	有効回答数(件)	50万円未満	100万円未満	150万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	700万円未満	700万円以上	無回答
40～44歳	58	—	1.7	3.4	17.2	12.1	8.6	8.6	8.6	34.5	5.2	
45～49歳	61	—	3.3	6.6	14.8	14.8	6.6	19.7	9.8	23.0	1.6	
50～54歳	57	—	1.8	1.8	7.0	17.5	17.5	12.3	12.3	28.1	1.8	
55～59歳	97	1.0	1.0	9.3	7.2	10.3	12.4	11.3	9.3	35.1	3.1	
60～64歳	214	1.4	6.1	11.7	19.6	20.6	14.5	7.5	2.8	12.1	3.7	

(10) 経済的にみた現在の暮らしの状況

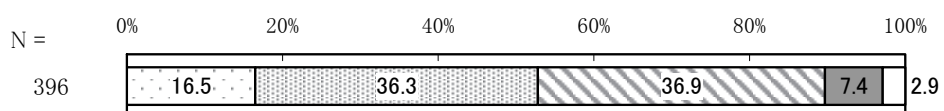
問1 Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
<〇は1つ>

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「やや苦しい」が38.2%で最も高く、次いで「ややゆとりがある」が33.9%となっています。「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合は56.9%、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合は40.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】



2 住まいについて

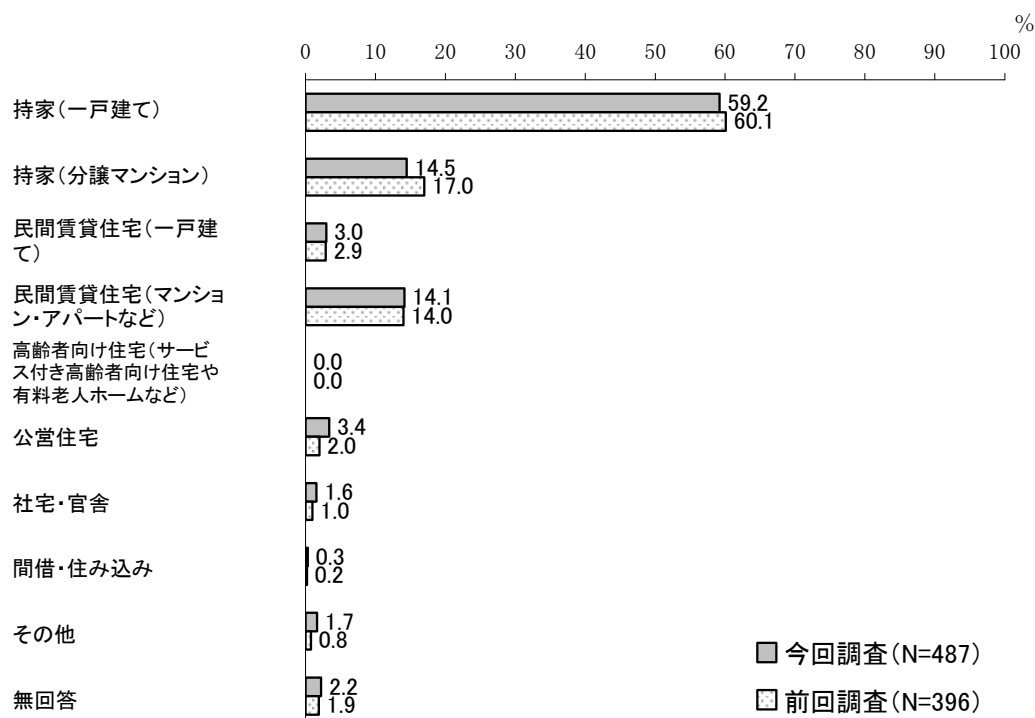
(1) 住居形態

問2 Q1. あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。〈○は1つ〉

住居形態については、「持家（一戸建て）」が59.2%で最も高く、次いで「持家（分譲マンション）」が14.5%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が14.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

家族構成別でみると、一世代、二世世代同居、三世世代同居では、いずれも「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。一方、単身世帯では、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が最も高くなっています。



【家族構成別】

単位：%

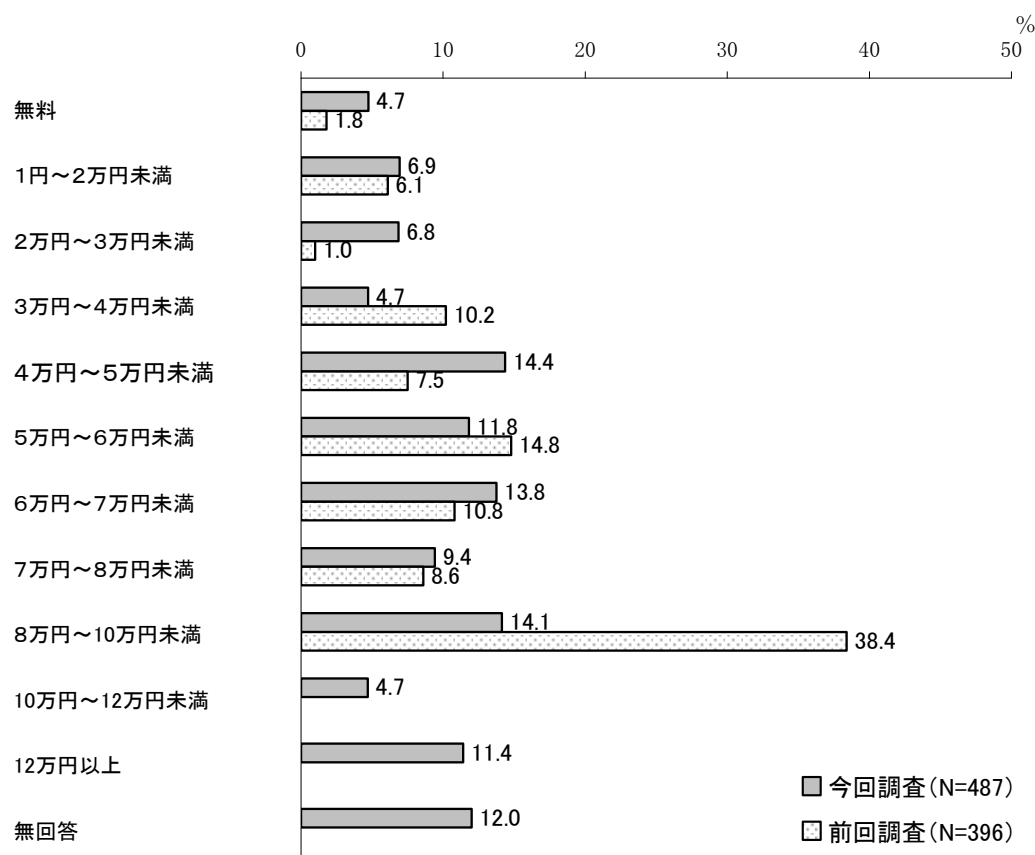
区分	有効回答数 (件)	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
単身世帯	68	26.5	22.1	1.5	38.2	—	4.4	2.9	—	1.5	2.9
一世代	121	56.2	24.0	5.0	8.3	—	1.7	0.8	—	2.5	1.7
二世世代同居	230	73.0	10.9	2.6	8.3	—	2.6	0.9	0.4	0.4	0.9
三世世代同居	39	79.5	5.1	—	—	—	—	—	—	5.1	10.3
その他	26	61.5	3.8	3.8	3.8	—	7.7	—	—	15.4	3.8

(2) 現在の住まいに係る居住費

問2 Q1-1. Q1で「3. 民間賃貸住宅（一戸建て）」～「9. その他」と回答した方（持ち家以外にお住まいの方）にお聞きします。現在のお住まいに係る住居費（月額、共益費含む。）は、次のどれにあたりますか。〈〇は1つ〉

持家以外に住んでいる人に、現在の住まいに係る住居費についてたずねたところ、「4万円～5万円未満」が14.4%で最も高く、次いで「8万円～10万円未満」が14.1%、「6万円～7万円未満」が13.8%となっています。

前回調査と比較すると、選択肢が異なっているため単純比較はできませんが、「4万円～5万円未満」が6.9ポイント、「2万円～3万円未満」が5.8ポイント増加しています。一方、「8万円以上（前回調査との比較のため合算している。）」が8.2ポイント、「3万円～4万円未満」が5.5ポイント減少しています。



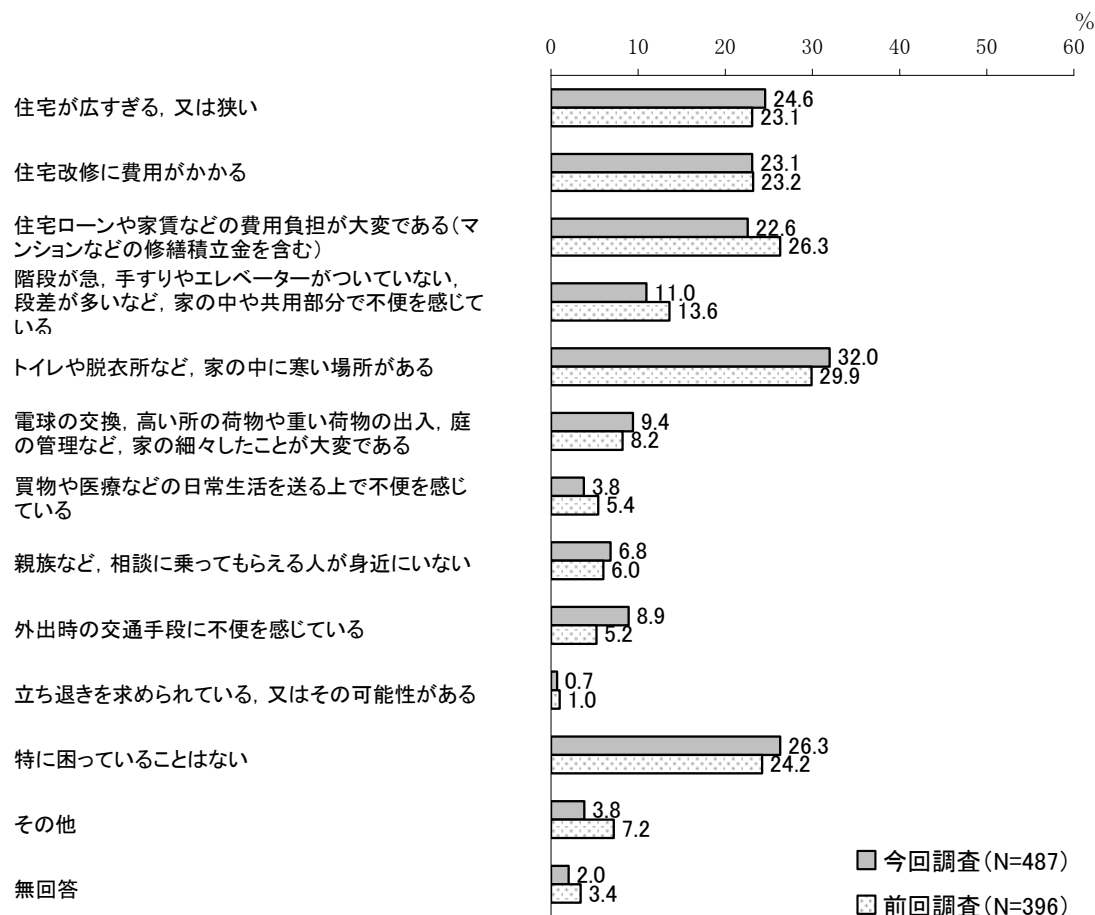
※前回調査は8万円以上で一つの選択肢となっています。

(3) 現在の住まいで困っていること

問2 Q2. あなたの現在のお住まいについてお困りのことは、次のどれですか。
 <あてはまるものすべてに○>

現在の住まいで困っていることについては、「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が32.0%で最も高く、次いで「特に困っていることはない」が26.3%、「住宅が広すぎる、又は狭い」が24.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



3 健康について

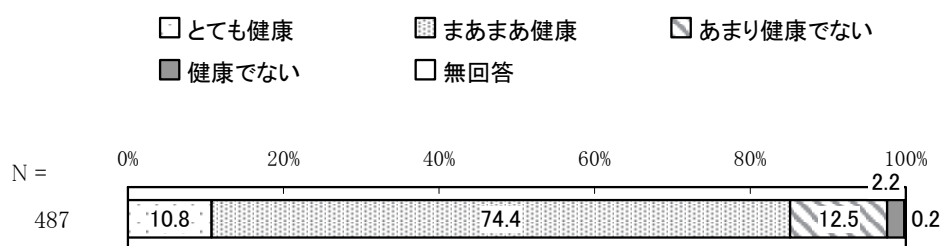
(1) 主観的健康観

問3 Q1. あなたは普段、御自分で健康だと思いますか。〈○は1つ〉

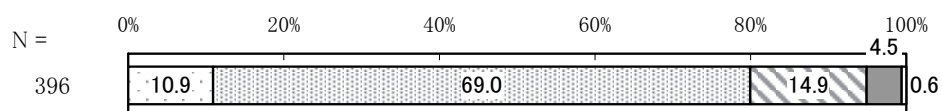
普段、自分で健康だと思うかについては、「まあまあ健康」が74.4%で最も高く、次いで「あまり健康でない」が12.5%で、「とても健康」が10.8%となっています。「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた“健康である”の割合は85.2%、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた“健康でない”の割合は14.7%となっています。

前回調査と比較すると、“健康である”の割合が5.3ポイント増加しています。

年齢別でみると、“健康でない”の割合は、概ね年齢が上がるとともに高くなっています。



【前回調査（平成25年）】



【年齢別】



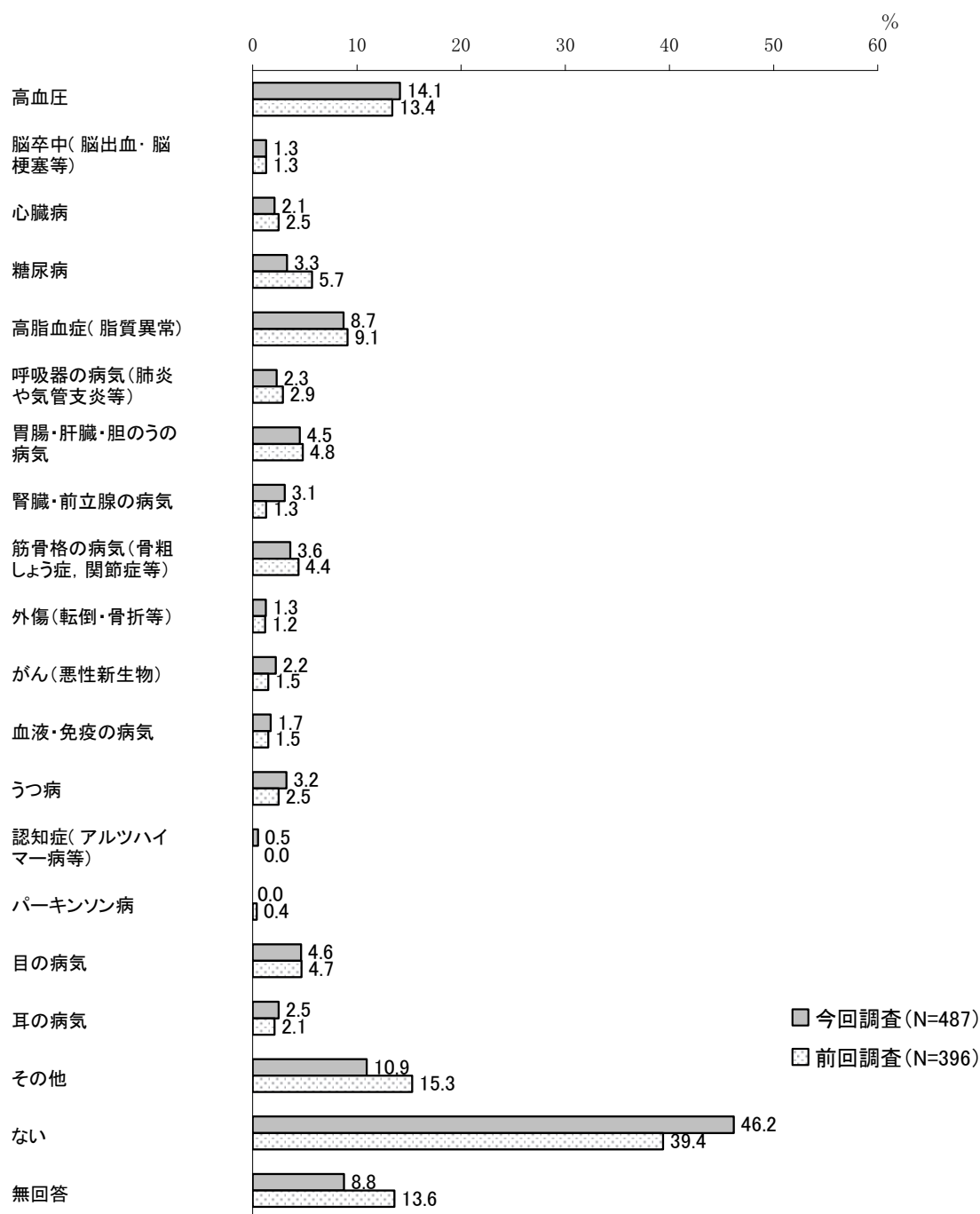
(2) 現在治療中・後遺症のある疾病

問3 Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。
 <あてはまるものすべてに○>

現在治療中・後遺症のある疾病については、「ない」が46.2%で最も高く、次いで「高血圧」が14.1%、「高脂血症（脂質異常）」が8.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ない」が6.8ポイント増加しています。

年齢別でみると、「高血圧」、「高脂血症（脂質異常）」は、概ね年齢が上がるとともに高くなっています。



【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症,関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない
40～44歳	58	1.7	—	—	1.7	5.2	1.7	1.7	1.7	—	—	—	—	3.4	1.7	—	—	—	8.6	67.2
45～49歳	61	8.2	—	—	—	1.6	—	3.3	1.6	4.9	1.6	3.3	3.3	8.2	—	—	—	3.3	11.5	47.5
50～54歳	57	17.5	3.5	1.8	5.3	8.8	1.8	5.3	7.0	5.3	3.5	—	1.8	—	—	—	5.3	1.8	8.8	47.4
55～59歳	97	23.7	1.0	4.1	5.2	14.4	4.1	7.2	4.1	4.1	—	5.2	2.1	2.1	—	—	10.3	3.1	11.3	30.9
60～64歳	214	23.4	2.3	5.1	5.1	15.0	4.2	6.1	1.9	4.7	1.4	3.3	1.9	1.9	0.5	—	9.3	4.7	14.5	32.2

(3) 健康について相談や指導を受けられる人の有無

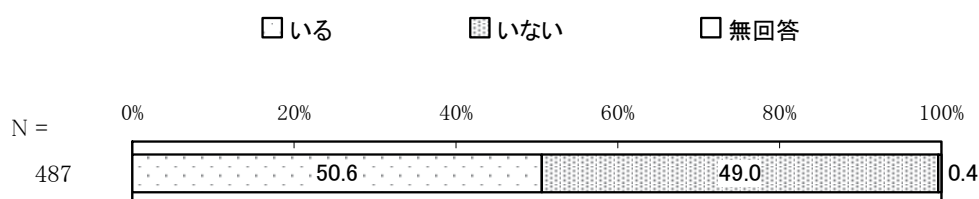
問3 Q3. あなたはふだんから健康について相談や指導を受けられる以下のような人はいますか。〈①から③までそれぞれ〇は1つ〉

① かかりつけ医

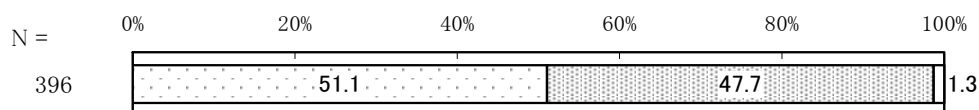
健康について相談や指導を受けられる人の有無については、かかりつけ医は、「いる」が50.6%、「いない」が49.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「いる」は概ね年齢が上がるとともに高くなっています。



【前回調査 (平成 25 年)】



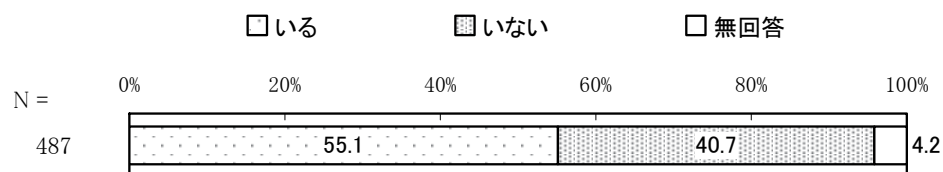
【年齢別】



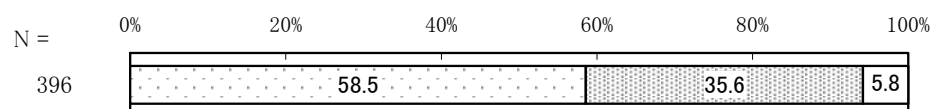
② かかりつけ歯科医

かかりつけ歯科医については、「いる」が55.1%、「いない」が40.7%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「いる」は概ね年齢が上がるとともに高くなっています。



【前回調査（平成25年）】



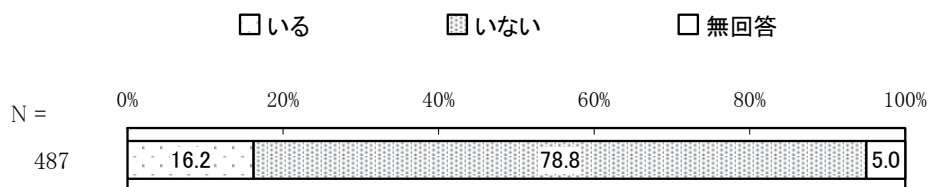
【年齢別】



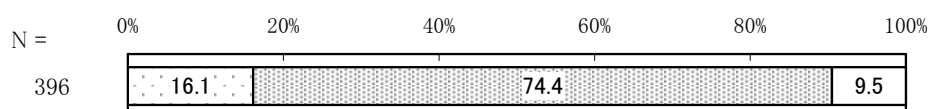
③ かかりつけ薬剤師

かかりつけ薬剤師については、「いる」が16.2%、「いない」が78.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

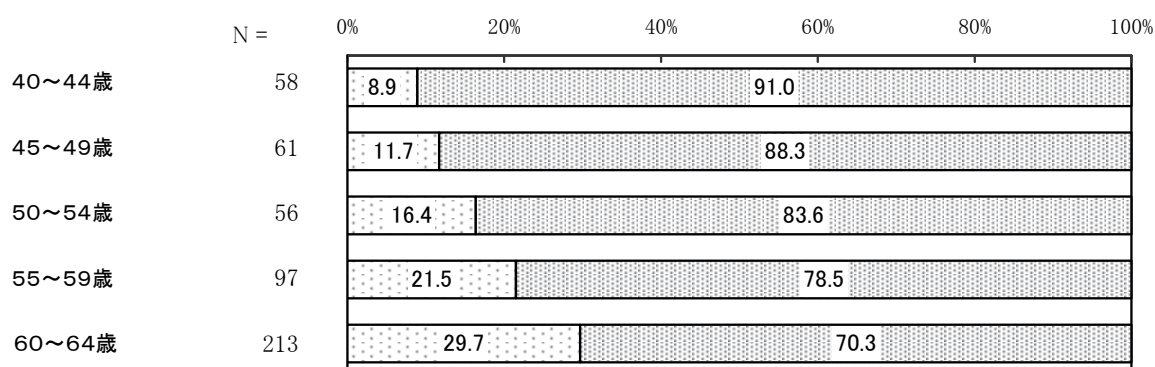
年齢別でみると、「いる」は年齢が上がるとともに高くなっています。



【前回調査（平成25年）】



【年齢別】

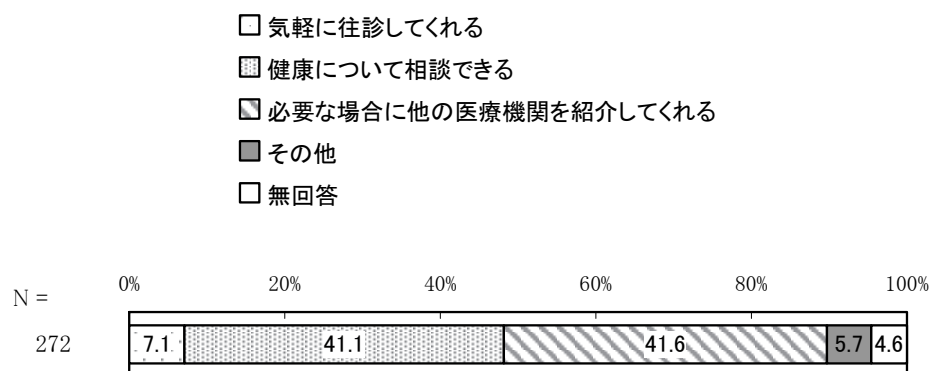


(4) かかりつけ医とのつながり

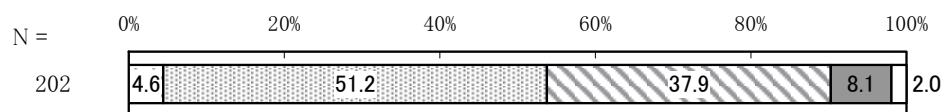
問3Q3-1. 問3①で、かかりつけ医が「1. いる」と回答した方にお聞きします。かかりつけ医はどのような方ですか。〈〇は1つ〉

かかりつけ医がいると回答した人に、かかりつけ医とのつながりについてたずねたところ、「必要な場合に他の医療機関を紹介してくれる」が41.6%で最も高く、次いで「健康について相談できる」が41.1%、「気軽に往診してくれる」が7.1%となっています。

前回調査と比較すると、「健康について相談できる」が10.1ポイント減少しています。



【前回調査（平成25年）】

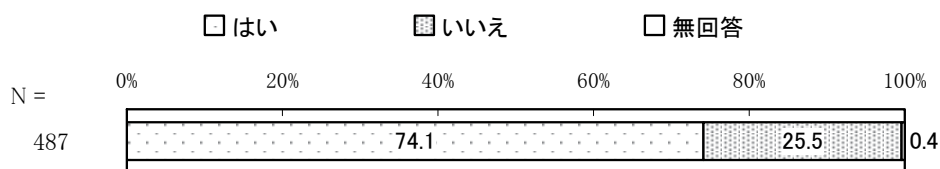


(5) 定期的な健康診断の受診の有無

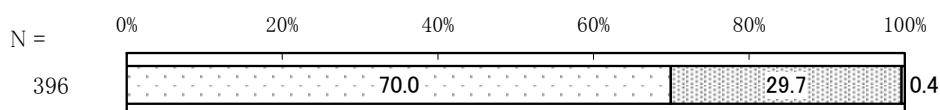
問3Q4. あなたは定期的に健康診断を受診していますか。〈〇は1つ〉

定期的な健康診断の受診有無については、「はい（受診している）」が74.1%、「いいえ（受診していない）」が25.5%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

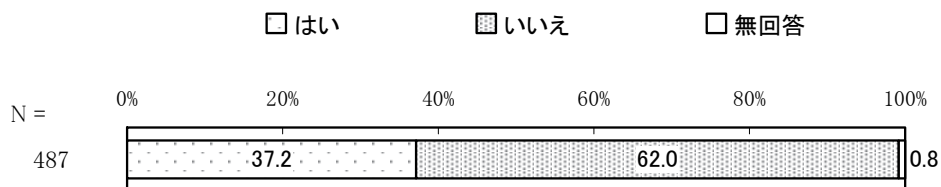


(6) 定期的な歯科受診の有無

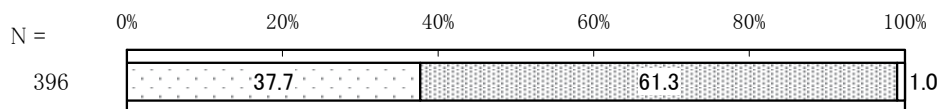
問3Q5. あなたは定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。〈○は1つ〉

定期的な歯科受診の有無については、「はい（受診している）」が37.2%、「いいえ（受診していない）」が62.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

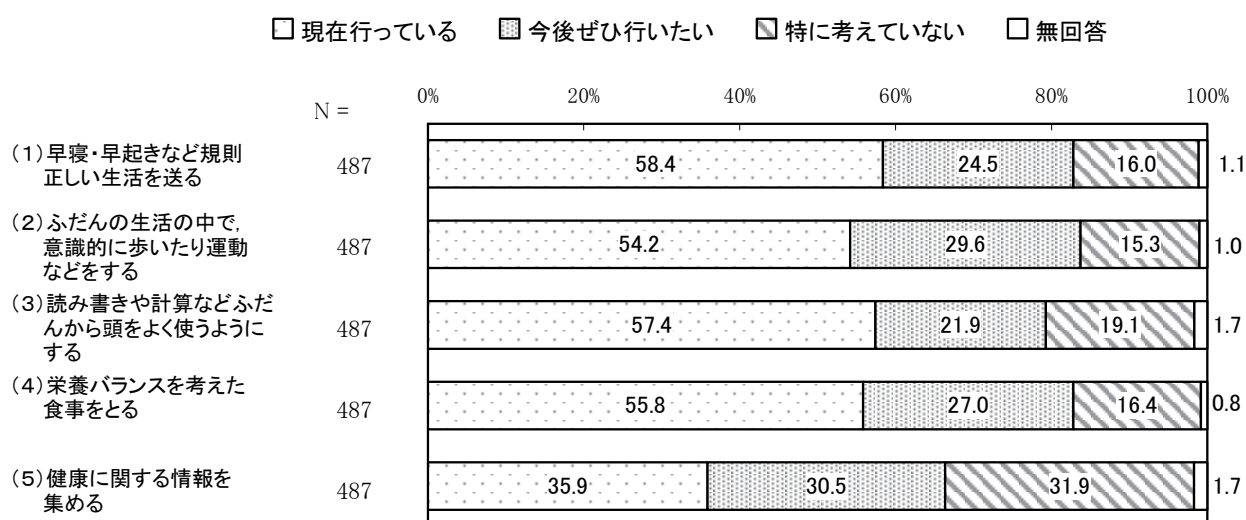


(7) 病気の予防や健康づくりのための取組状況

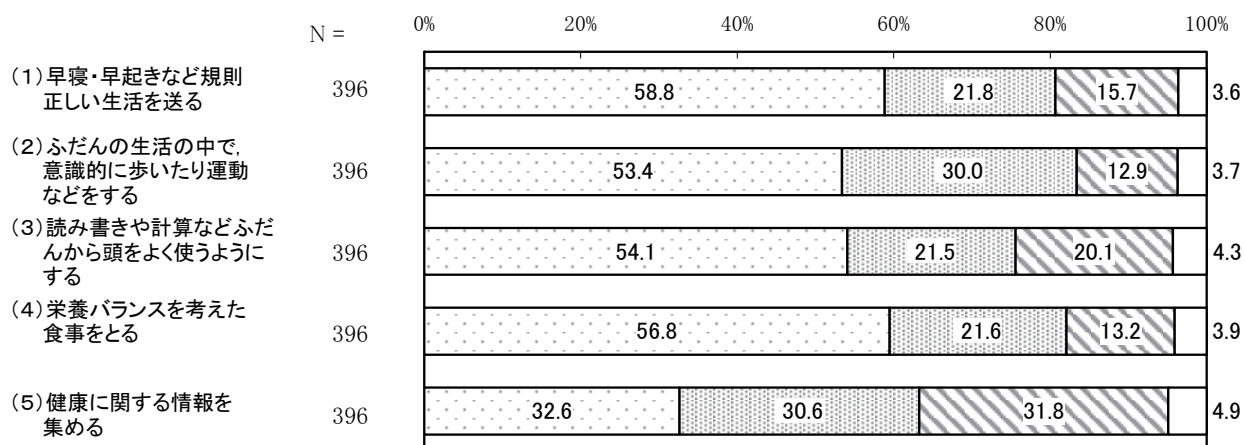
問3 Q6. あなたは以下のような病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。また行っていない場合は、今後どのように考えていますか。
 <(1)から(5)までそれぞれ〇は1つつつ>

病気の予防や健康づくりのための取組状況について、「現在行っている」は、「(1)早寝・早起きなどの規則正しい生活を送る」,「(2)ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする」,「(3)読み書きや計算などふだんから頭をよく使うようにする」,「(4)栄養バランスを考えた食事をとる」で、50%を超えています。「今後ぜひ行いたい」も加えると、病気の予防や健康づくりの意識が高いことが分かります。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

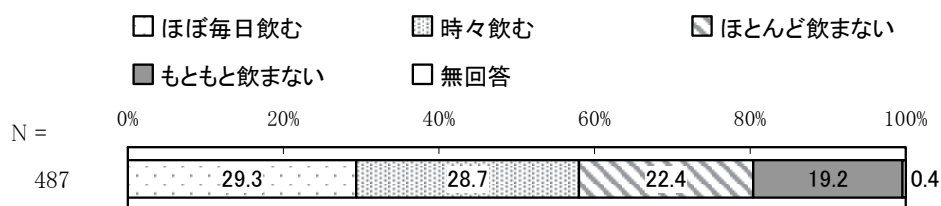


(8) 飲酒習慣

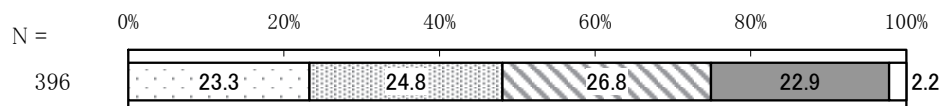
問3Q7. あなたはお酒を飲みますか。〈〇は1つ〉

飲酒については、「ほぼ毎日飲む」が29.3%で最も高く、次いで「時々飲む」が28.7%、「ほとんど飲まない」が22.4%となっています。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた“飲む”の割合は58.0%、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた“飲まない”の割合は41.6%となっています。

前回調査と比較すると、“飲む”の割合は9.9ポイント増加しています。



【前回調査 (平成 25 年)】

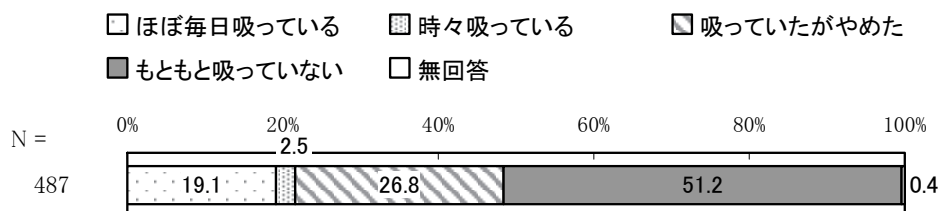


(9) 喫煙習慣

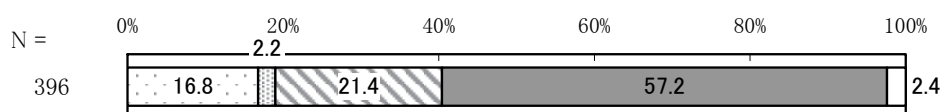
問3Q8. あなたはタバコを吸っていますか。〈〇は1つ〉

喫煙については、「もともと吸っていない」が51.2%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が26.8%、「ほぼ毎日吸っている」が19.1%となっています。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた“吸っている”の割合は21.6%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた“吸っていない”の割合は78.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査 (平成 25 年)】

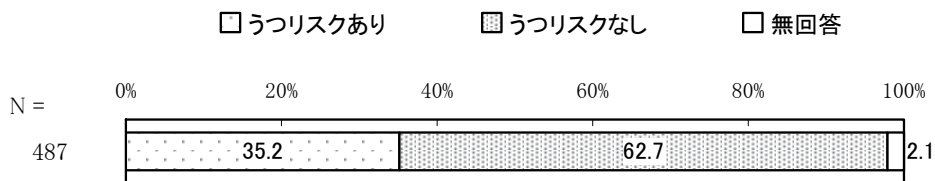


4 リスク評価について

(1) うつ予防

国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の分析方法に基づき、ここ2週間の心身状況について、「充実感がない」、「楽しめなくなった」、「おっくうに感じられる」、「役立つ人間だと思えない」、「疲れたような感じがする」と回答した場合は1点、それ以外の回答の場合は0点と得点を設定し合計値を求め、2点以上の場合は「うつリスクあり」、1点以下の場合は「うつリスクなし」として区分しました。

その結果、「うつリスクあり」が35.2%、「うつリスクなし」が62.7%となっています。

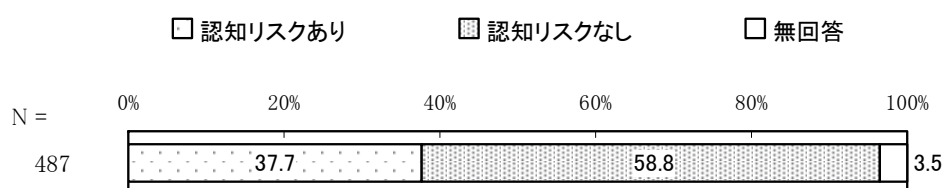


設問	件数 : 487 件
問3Q9. ①毎日の生活に充実感がない (はい)	22.7%
問3Q9. ②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった (はい)	19.1%
問3Q9. ③以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる (はい)	37.6%
問3Q9. ④自分が役に立つ人間だと思えない (はい)	16.4%
問3Q9. ⑤わけもなく疲れたような感じがする (はい)	35.0%

(2) 認知症予防

国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の分析方法に基づき、日常生活において「物忘れがあると言われる」、「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」、「何月何日かわからない時がある」と回答した場合は1点、それ以外の回答の場合は0点と得点を設定し合計値を求め、1点以上の場合は「認知症リスクあり」、0点の場合は「認知症リスクなし」として区分しました。

その結果、「認知症リスクあり」が37.7%、「認知症リスクなし」が58.8%となっています。



設問	件数 : 487 件
問4 Q 1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるか (はい)	9.2%
問4 Q 2. 他人の手助けを得ずに、自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (いいえ)	24.8%
問4 Q 3. 今日が何月何日かわからない時がありますか (はい)	13.8%

5 日常生活について

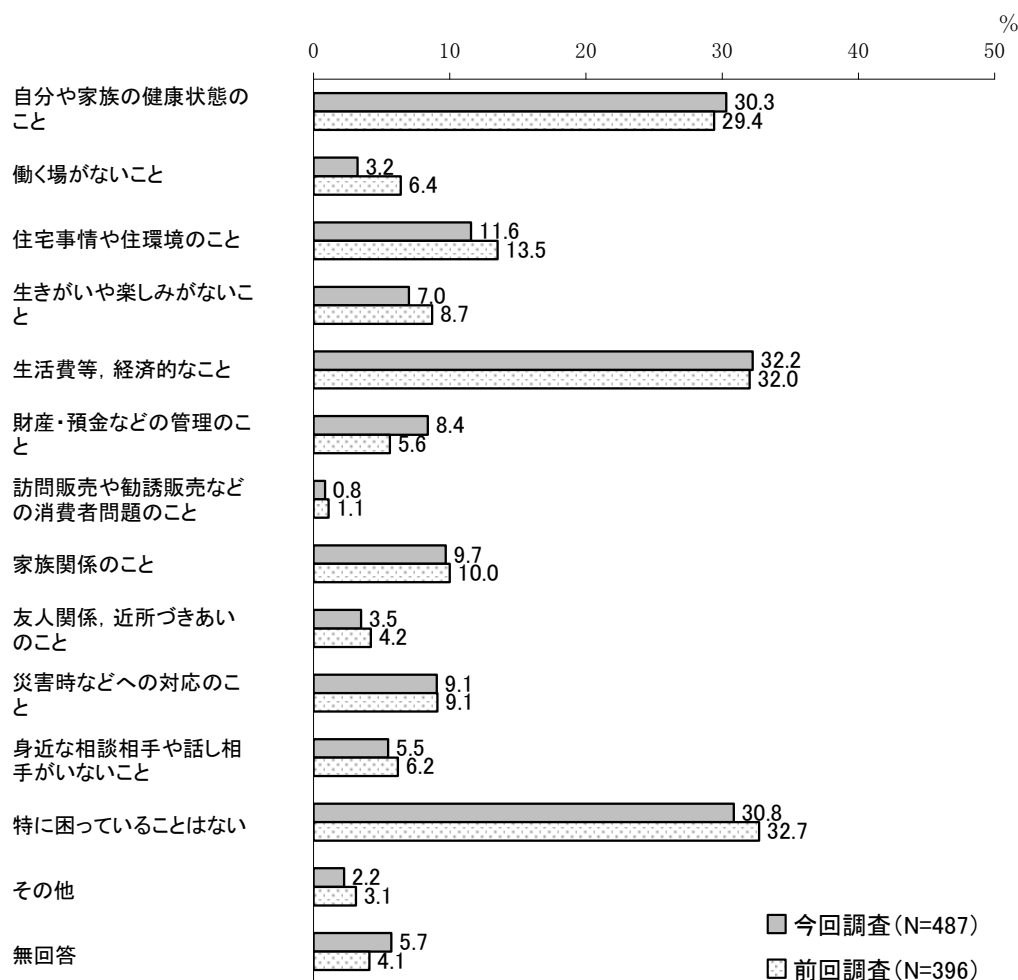
(1) 今の生活で困っていること

問4 Q4. あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。〈〇は3つまで〉

今の生活で困っていることについては、「生活費等、経済的なこと」が32.2%で最も高く、次いで「特に困っていることはない」が30.8%、「自分や家族の健康状態のこと」が30.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、40～49歳では、「生活費等、経済的なこと」が最も高くなっており、50歳以上では「特に困っていることはない」が最も高くなっています。



【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分や家族の健康状態のこと	働く場がないこと	住宅事情や住環境のこと	生きがいや楽しみがないこと	生活費等、経済的なこと	財産・預金などの管理のこと	訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	家族関係のこと	友人関係、近所づきあいのこと	災害時などへの対応のこと	身近な相談相手や話し相手がないこと	特に困っていることはない	その他	無回答
40～44歳	58	27.6	5.2	13.8	8.6	31.0	15.5	—	6.9	3.4	10.3	6.9	22.4	—	10.3
45～49歳	61	29.6	3.3	11.5	8.2	44.3	9.8	1.6	1.6	1.6	9.8	3.3	27.9	—	6.6
50～54歳	57	29.5	1.8	8.8	8.8	26.3	7.0	1.8	15.8	1.8	7.0	8.8	35.1	5.3	5.3
55～59歳	97	29.9	3.1	8.2	3.1	30.9	5.2	—	13.4	6.2	9.3	3.1	36.1	6.2	1.0
60～64歳	214	29.8	2.3	14.0	5.6	28.0	2.8	0.9	12.6	4.7	8.4	5.1	35.5	1.4	3.7

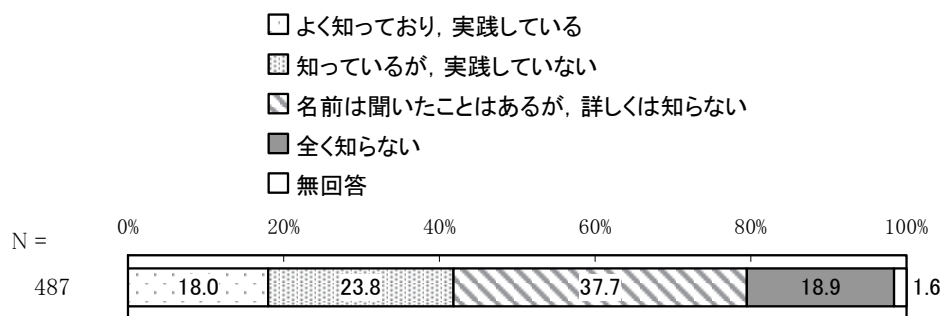
(2) 介護予防の認知状況

問4 Q5. 介護予防とは、なるべく要介護状態にならないように、また、介護が必要な人もそれ以上状態を悪化させないようにする取組の事です。あなたはこのことについて御存知でしたか。また、介護予防を実践していますか。〈○は1つ〉

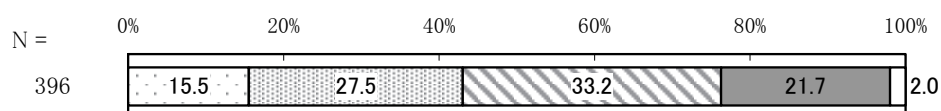
介護予防の認知状況については、「名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が37.7%で最も高く、次いで「知っているが、実践していない」が23.8%、「全く知らない」が18.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

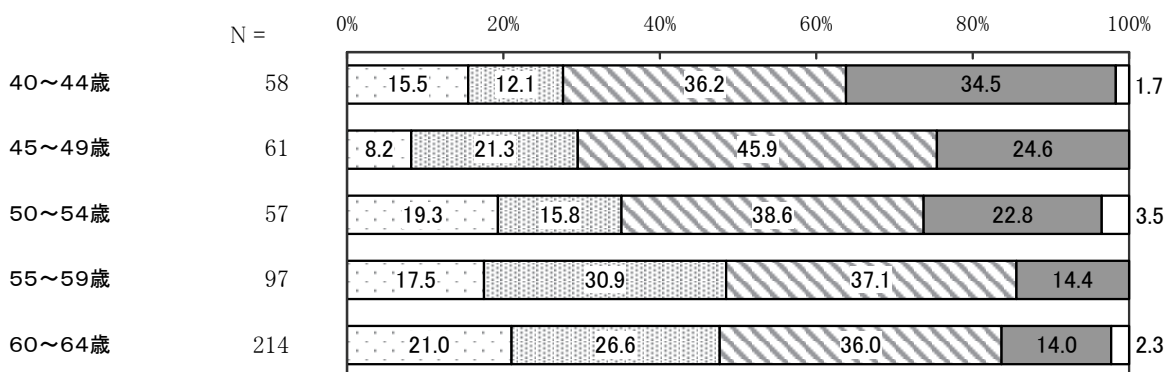
年齢別でみると、「よく知っており、実践している」が「45～49歳」で8.2%と最も低く、「60～64歳」で21.0%と最も高くなっています。「全く知らない」は概ね年齢が上がるとともに低くなっています。



【前回調査（平成25年）】



【年齢別】



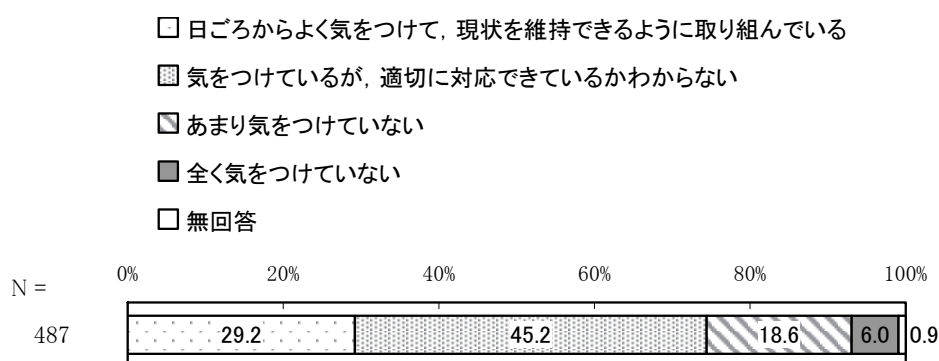
(3) 心身の変化への配慮や改善の取組状況

問4 Q6. あなたは日ごろ、御自分の心身の変化（足腰のおとろえなど）に気を配り、早めに改善していますか。〈〇は1つ〉

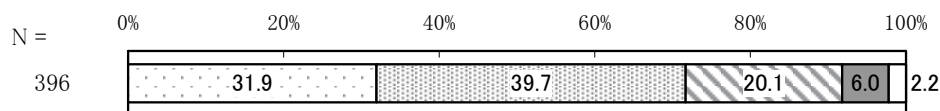
心身の変化への配慮や改善の取組状況については、「気をつけているが、適切に対応できているかわからない」が45.2%で最も高く、次いで「日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる」が29.2%、「あまり気をつけていない」が18.6%となっています。「あまり気をつけていない」と「全く気をつけていない」を合わせた“気をつけていない”の割合は24.6%となっています。

前回調査と比較すると、「気をつけているが、適切に対応できているかわからない」が5.5ポイント増加しています。

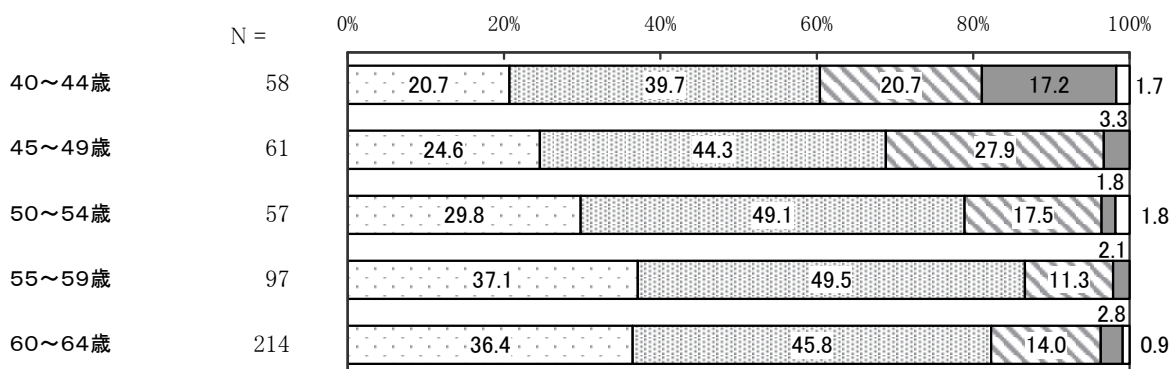
年齢別でみると、“気をつけていない”の割合は概ね年齢が上がるとともに低くなっています。



【前回調査（平成25年）】



【年齢別】



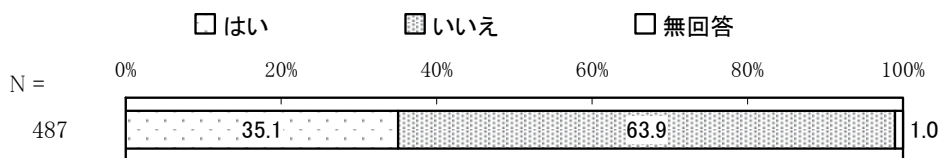
6 介護・介助に対する意識等について

(1) 認知症の方を支援する取組の認知状況

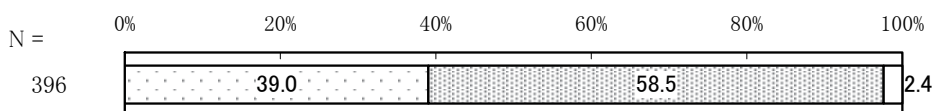
問5 Q 1. あなたは認知症の方を支援する取組について知っていますか。〈〇は1つ〉

認知症の方を支援する取組について、「はい（知っている）」が35.1%、「いいえ（知らない）」が63.9%となっています。

前回調査との比較では、「いいえ（知らない）」が5.4ポイント高くなっています。



【前回調査（平成25年）】

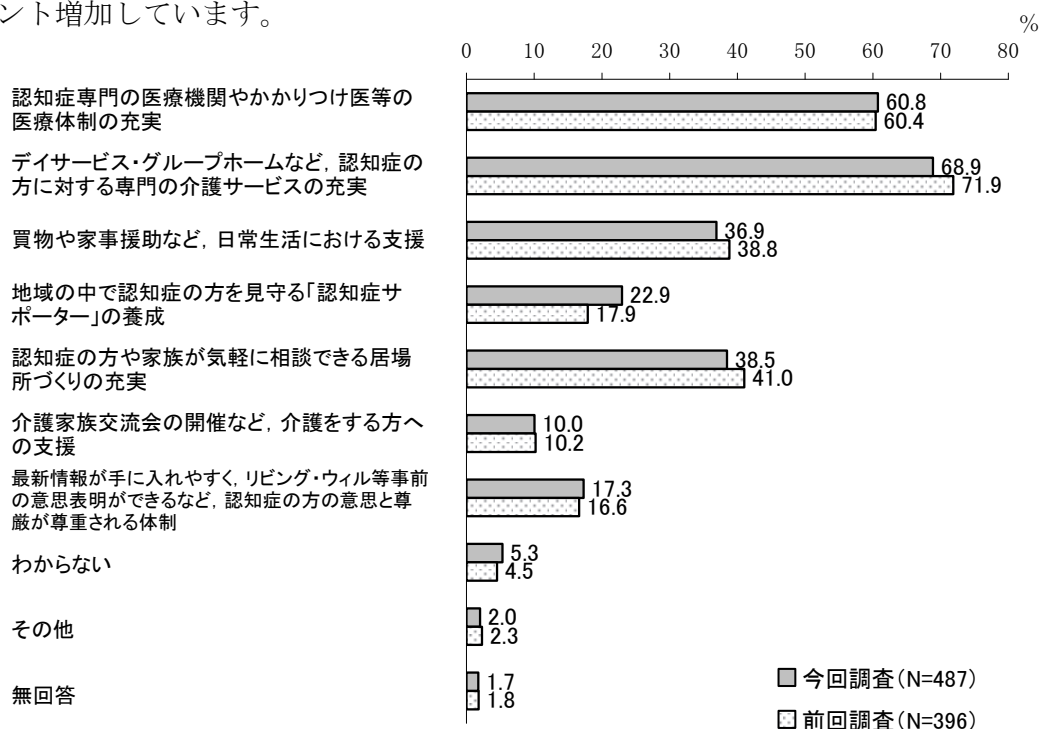


(2) 認知症になった場合に求める支援

問5 Q 2. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。〈〇は3つまで〉

認知症になった場合に求める支援については、「デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が68.9%で最も高く、次いで「認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実」が60.8%、「認知症の方や家族が気軽に相談できる居場所づくりの充実」が38.5%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の中で認知症の方を見守る「認知症サポーター」の養成」が5.0ポイント増加しています。

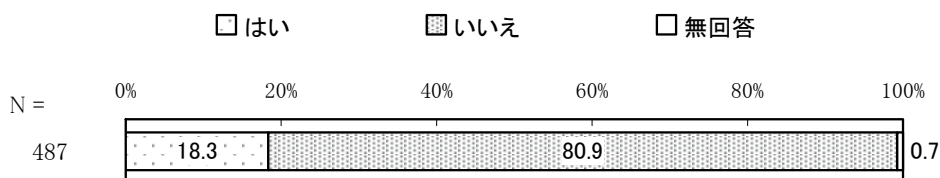


(3) 若年性認知症を支援する取組の認知状況

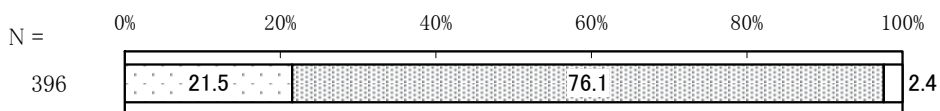
問5 Q3. 若年性認知症とは65歳未満で発症する認知症のことです。
あなたは若年性認知症の方を支援する取組について知っていますか。
<〇は1つ>

若年性認知症を支援する取組の認知状況については、「はい（知っている）」が18.3%、「いいえ（知らない）」が80.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

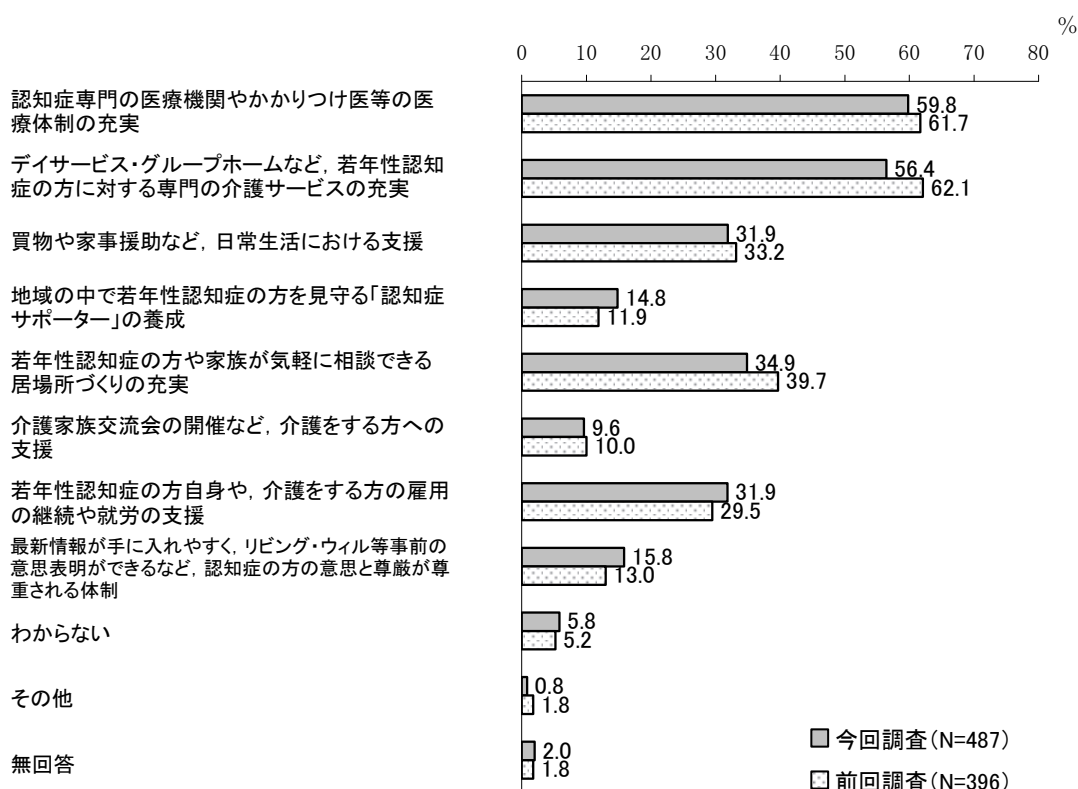


(4) 若年性認知症になった場合に求める支援

問5 Q4. あなたやあなたの家族が若年性認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。〈〇は3つまで〉

若年性認知症になった場合に求める支援については、「認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実」が59.8%で最も高く、次いで「デイサービス・グループホームなど、若年性認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が56.4%、「若年性認知症の方や家族が気軽に相談できる居場所づくりの充実」が34.9%となっています。

前回調査と比較すると、「デイサービス・グループホームなど、若年性認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が5.7ポイント減少しています。

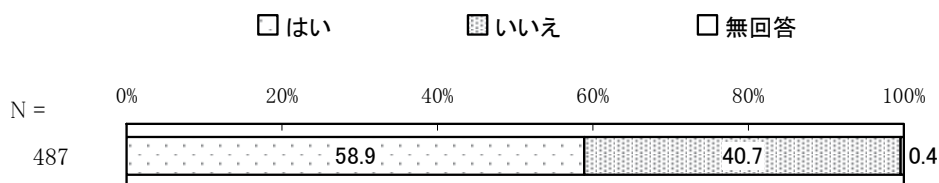


(5) 成年後見制度の認知状況

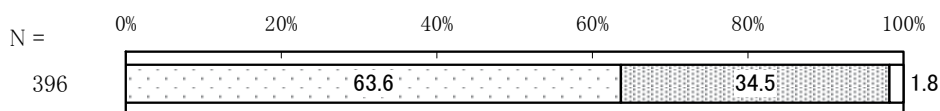
問5 Q5. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。
あなたは成年後見制度を知っていますか。〈〇は1つ〉

成年後見制度の認知状況については、「はい（知っている）」が58.9%、「いいえ（知らない）」が40.7%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ（知らない）」が6.2ポイント減少しています。



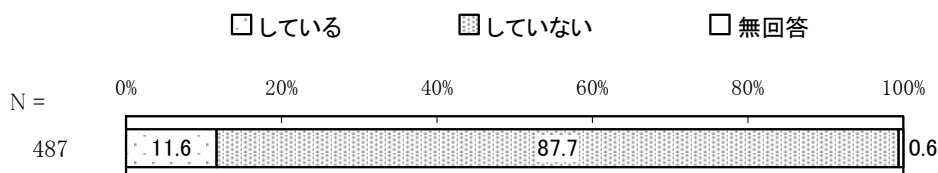
【前回調査（平成25年）】



(6) 介護の有無

問5 Q6. あなたは、現在、家族の介護をしていますか。〈〇は1つ〉

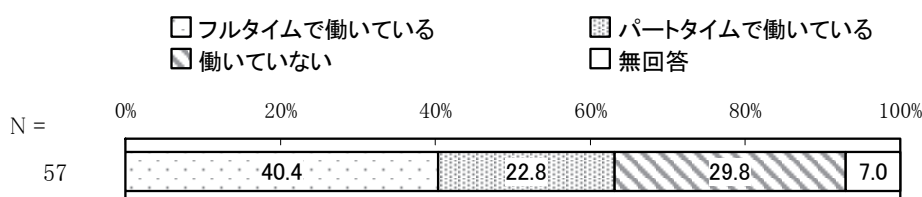
「現在、家族の介護をしているか」については、「している」が11.6%、「していない」が87.7%となっています。



(7) 介護者の勤務形態

問5 Q7. Q6で「1. している」と回答した方にお聞きします。現在の勤務形態について、御回答ください。〈〇は1つ〉

介護者の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が40.4%と最も高く、次いで「働いていない」が29.8%、「パートタイムで働いている」が22.8%となっています。

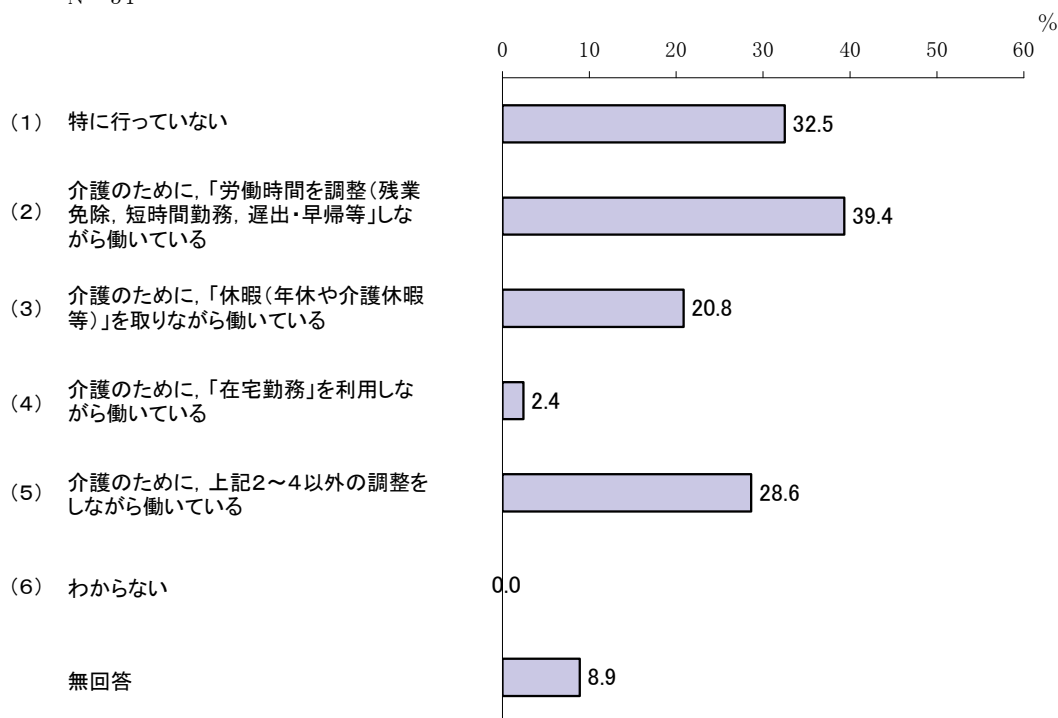


(8) 働き方についての調整等

問5 Q7-1. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。〈あてはまるものすべてに○〉

介護をするに当たって、働き方の調整等については、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除，短時間勤務，遅出・早帰等）」しながら働いている」が39.4%と最も高く，次いで「特に行っていない」が32.5%，「介護のために，（2）～（4）以外の調整をしながら働いている」が28.6%となっています。

N = 34

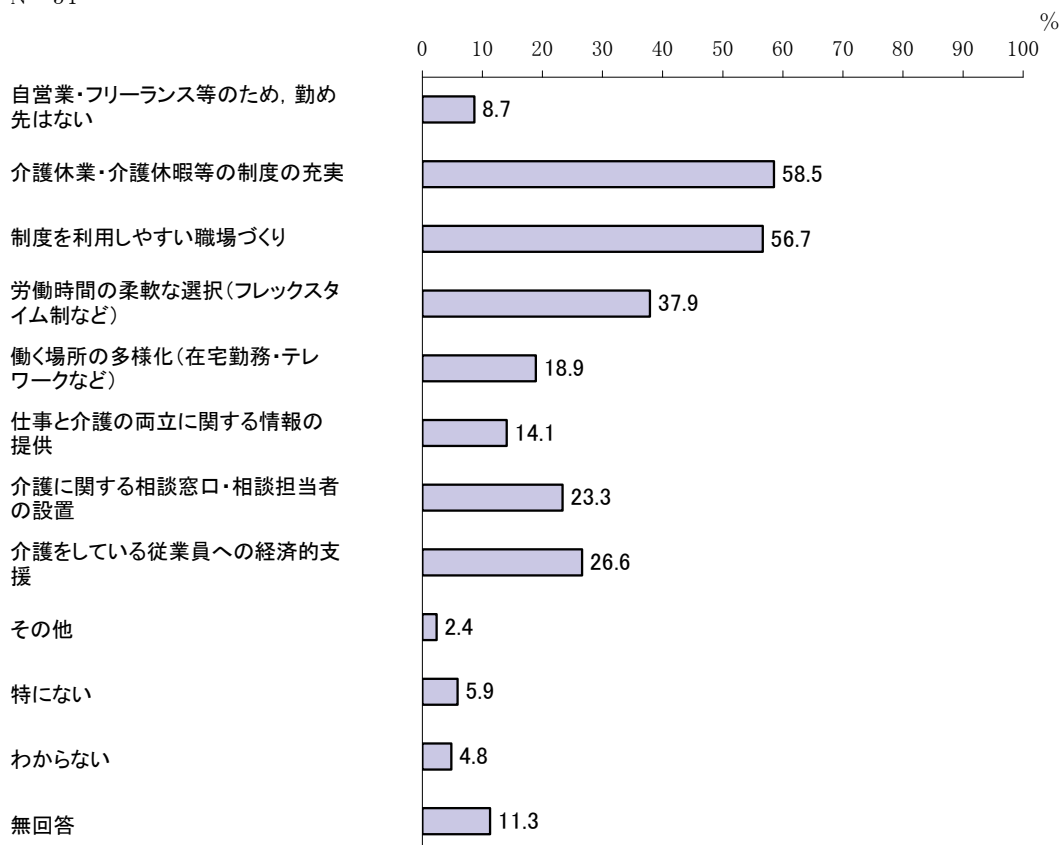


(9) 仕事と介護の両立のための支援

問5 Q7-2. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
 <あてはまるものすべてに○>

仕事と介護の両立のための支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が58.5%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が56.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が37.9%となっています。

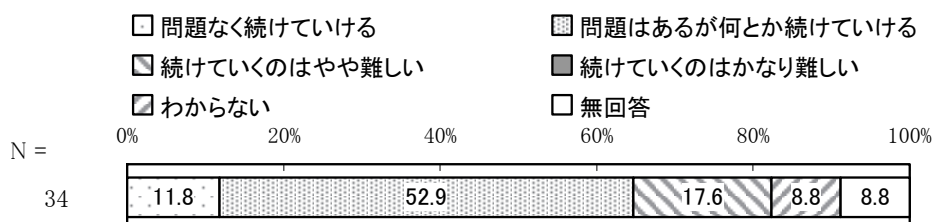
N = 34



(10) 就労しながらの介護の継続について

問5 Q7-3. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。今後も働きながら介護を続けていけそうですか。<○は1つ>

就労しながらの介護の継続については、「問題はあるが何とか続けていける」が52.9%と最も高く、次いで「続けていくのはやや難しい」が17.6%、「問題なく続けていける」が11.8%となっています。

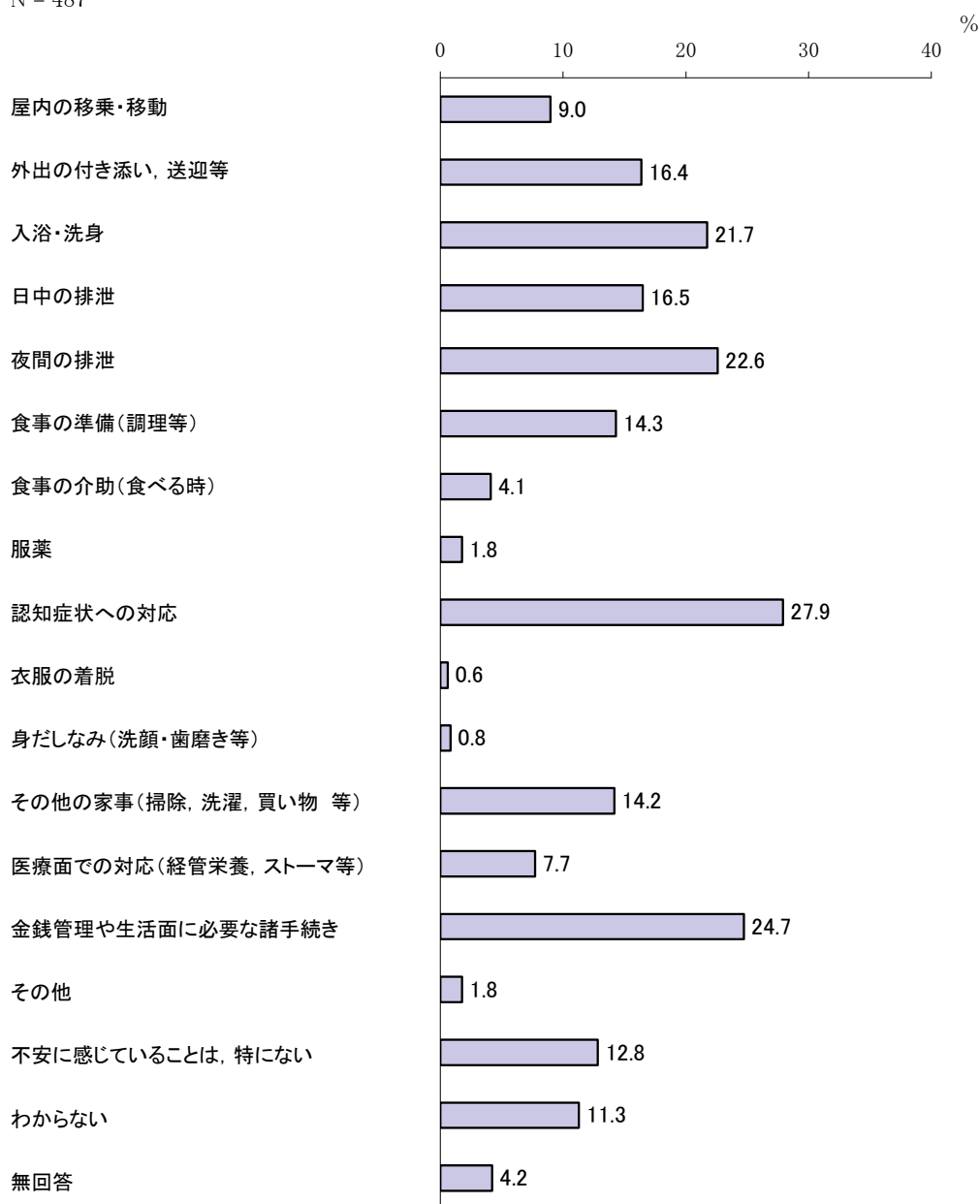


(11) 現在の生活を継続していくに当たって、不安を感じる介護等について

問5 Q 8. あなたが現在の生活を継続していくに当たって、不安を感じる介護等について、御回答ください（現状で行っているか否かは問いません。）。
<〇は3つまで>

現在の生活を継続していくに当たって、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が 27.9%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 24.7%、「夜間の排泄」が 22.6%となっています。

N = 487

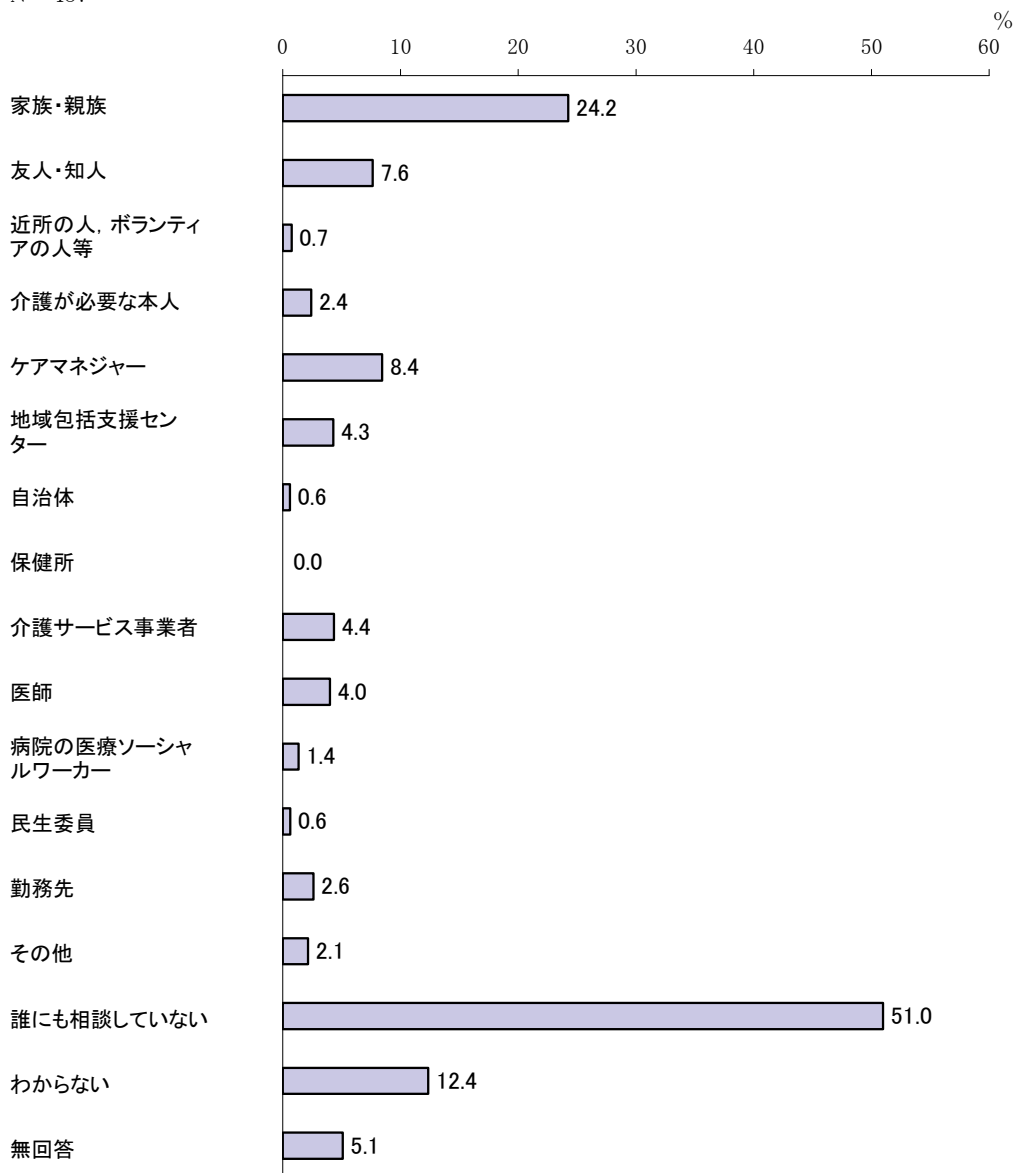


(12) 介護の相談相手

問5 Q9. あなたは、介護について誰かに相談していますか。
〈あてはまるものすべてに○〉

介護の相談相手については、「誰にも相談していない」が51.0%と最も高く、次いで「家族・親族」が24.2%、「わからない」が12.4%となっています。

N = 487

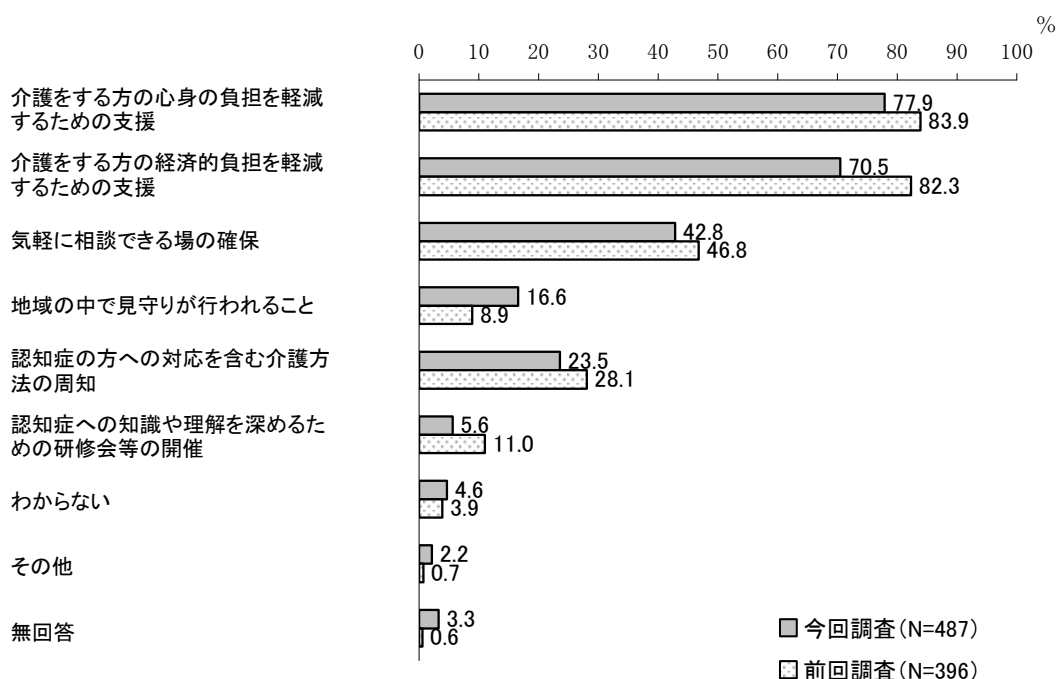


(13) 家族等の介護をするうえで求める支援

問5 Q10. あなたは、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

家族等の介護をするうえで求める支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が77.9%で最も高く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が70.5%、「気軽に相談できる場の確保」が42.8%となっています。

前回調査と比較すると、「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が11.8ポイント、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が6.0ポイント減少しています。

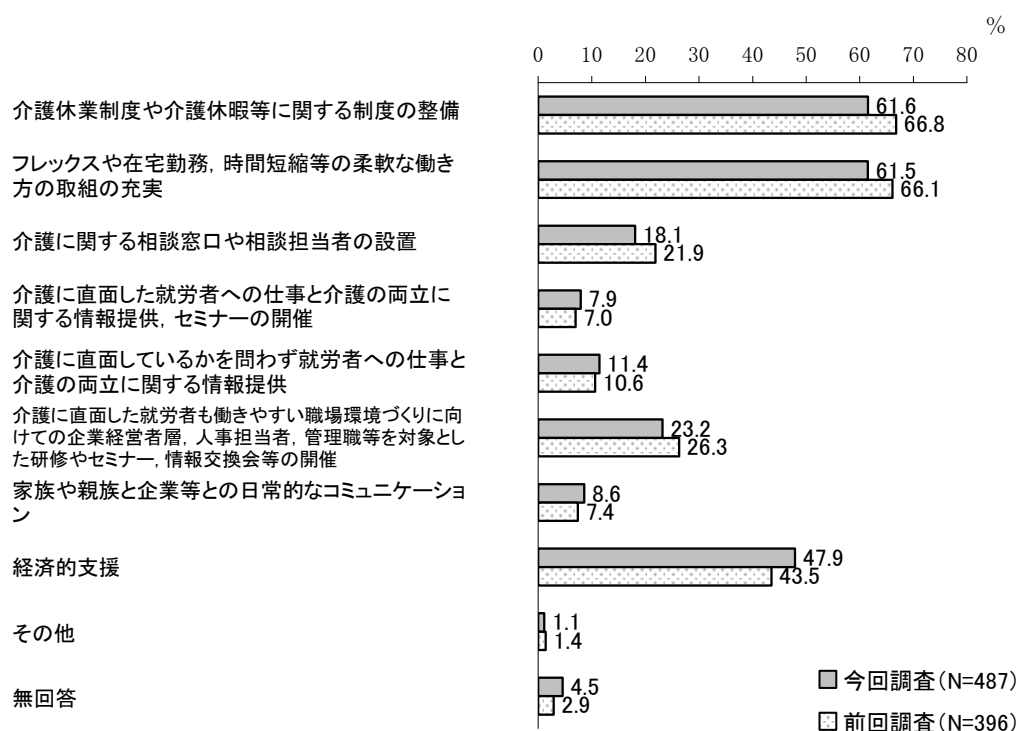


(14) 介護と仕事の両立支援のため企業等に求める支援

問5 Q11. あなたは介護と仕事を両立するためには、企業等にどのような支援策があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

介護と仕事の両立支援のため企業等に求める支援については、「介護休業制度や介護休暇等に関する制度の整備」が61.6%で最も高く、次いで「フレックスや在宅勤務、時間短縮等の柔軟な働き方の取組の充実」が61.5%、「経済的支援」が47.9%となっています。

前回調査と比較すると、「介護休業制度や介護休暇等に関する制度の整備」が5.2ポイント減少しています。



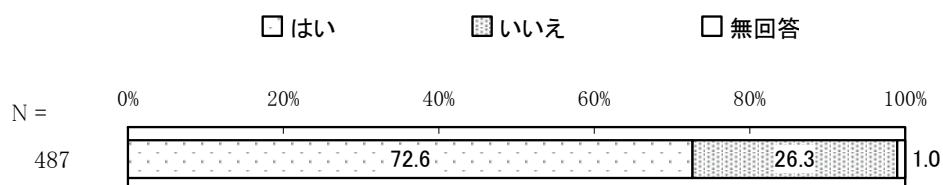
7 社会参加について

(1) 趣味の有無

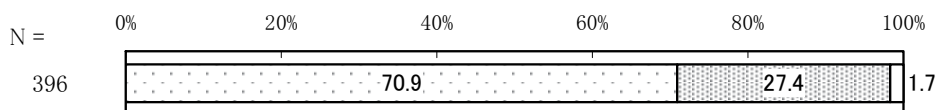
問6 Q 1. あなたは趣味がありますか。〈〇は1つ〉

趣味の有無については、「はい（ある）」が 72.6%、「いいえ（ない）」が 26.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成 25 年）】

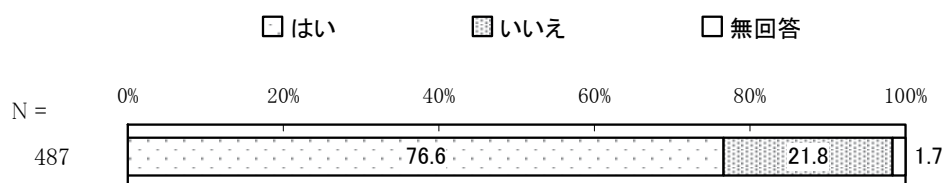


(2) 生きがいの有無

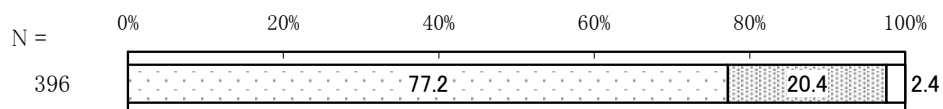
問6 Q 2. あなたは生きがいがありますか。〈〇は1つ〉

生きがいの有無については、「はい（ある）」が 76.6%、「いいえ（ない）」が 21.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成 25 年）】



(3) 会・グループの参加頻度

問6 Q3. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 <(1)から(6)までそれぞれ〇は1つつつ>

会・グループの参加頻度については、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた“参加している”の割合は、「(4)町内会・自治会」が38.7%で最も高く、次いで「(3)趣味関係のグループ」が29.8%となっています。

「参加していないが、今後参加したい」は、「(5)学習・教養サークル」で43.9%で最も高く、次いで「(1)ボランティアのグループ」で41.8%となっています。

「参加していないし、今後参加する気はない」は、「(1)ボランティアのグループ」、「(2)スポーツ関係のグループやクラブ」、「(4)町内会・自治会」、「(5)学習・教養サークル」で、いずれも30%以上となっています。

前回調査と比較すると、「参加していないが、今後参加したい」は、「(2)スポーツ関係のグループやクラブ」が6.1ポイント、「(4)町内会・自治会」で5.2ポイント増加しています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加したい	参加していないが、今後	参加していないし、今後	無回答
(1) ボランティアのグループ	487	0.3	1.4	1.3	3.9	4.0	41.8	43.9	3.6	
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	487	1.9	4.1	5.3	6.7	6.9	34.1	36.6	4.5	
(3) 趣味関係のグループ	487	0.5	2.0	5.2	12.5	9.6	37.5	28.5	4.1	
(4) 町内会・自治会	487	0.1	0.2	0.0	4.8	33.6	22.0	35.7	3.7	
(5) 学習・教養サークル	487	0.1	0.4	2.3	4.2	6.6	43.9	37.6	4.9	
(6) その他の団体や会	487	0.5	1.4	0.3	4.9	5.7	25.9	57.0	4.3	

【前回調査（平成 25 年）】

単位：％

区分	有効回答数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	後参加したい	参加していないが、今後参加する気はない	参加していないし、今後参加する気はない	無回答
（1）ボランティアのグループ	396	0.4	0.6	0.9	4.5	5.5	40.2	40.8	7.0	
（2）スポーツ関係のグループやクラブ	396	0.6	4.7	8.1	5.6	5.0	28.0	41.3	6.6	
（3）趣味関係のグループ	396	0.2	1.1	5.5	9.5	10.0	37.4	30.9	5.4	
（4）町内会・自治会	396	0.0	0.2	0.2	6.2	35.0	16.8	34.4	7.0	
（5）学習・教養サークル	396	0.0	0.6	2.2	3.8	3.8	42.0	40.4	7.2	
（6）その他の団体や会	396	0.8	1.3	1.7	4.6	8.2	19.9	55.8	7.7	

(4) 社会参加活動や仕事の活動頻度

問6 Q4. あなたは以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。〈(1)から(5)までそれぞれ〇は1つつつ〉

社会参加活動や仕事の活動頻度については、「週4回以上」から「年に数回」までをあわせた“参加している”の割合は「収入のある仕事」で61.7%と最も高くなっています。

「していないが、今後したい」は「(4)地域の生活環境の改善（美化）活動」で45.9%と最も高く、次いで「(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動」で41.8%、「(3)子どもを育てている親を支援する活動」で41.2%となっています。

「していないし、今後もしない」は「(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動」, 「(2)介護が必要な高齢者を支援する活動」, 「(3)子どもを育てている親を支援する活動」で約50%となっています。

前回調査と比較すると、「(5)収入のある仕事」で「週4回以上」が7.4ポイント、「(4)地域の生活環境の改善（美化）活動」で「していないし、今後もしない」で5.3ポイント増加しています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していないが、 今後したい	していないし、 今後もしない	無回答
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	487	2.4	0.1	0.2	1.3	0.6	41.8	49.1	4.5
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	487	2.9	0.2	0.2	1.5	0.7	39.5	50.2	4.7
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	487	0.4	0.4	0.0	1.8	3.3	41.2	48.3	4.7
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	487	0.3	0.4	—	0.8	12.4	45.9	36.0	4.3
(5) 収入のある仕事	487	53.8	5.7	1.0	0.7	0.5	19.2	14.1	5.0

【前回調査（平成 25 年）】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	た い し て い な い が 、 今 後 し たい	し て い な い し 、 今 後 も す る 気 は な い	無 回 答
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	396	3.2	0.6	1.2	1.3	2.4	36.9	48.7	5.7
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	396	3.1	0.8	0.4	0.6	2.5	36.7	49.0	6.9
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	396	0.8	0.4	0.4	0.8	4.0	41.6	45.8	6.3
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	396	0.4	0.2	0.4	2.1	14.8	45.1	30.7	6.3
(5) 収入のある仕事	396	46.4	6.2	1.2	0.8	0.4	23.3	15.9	5.9

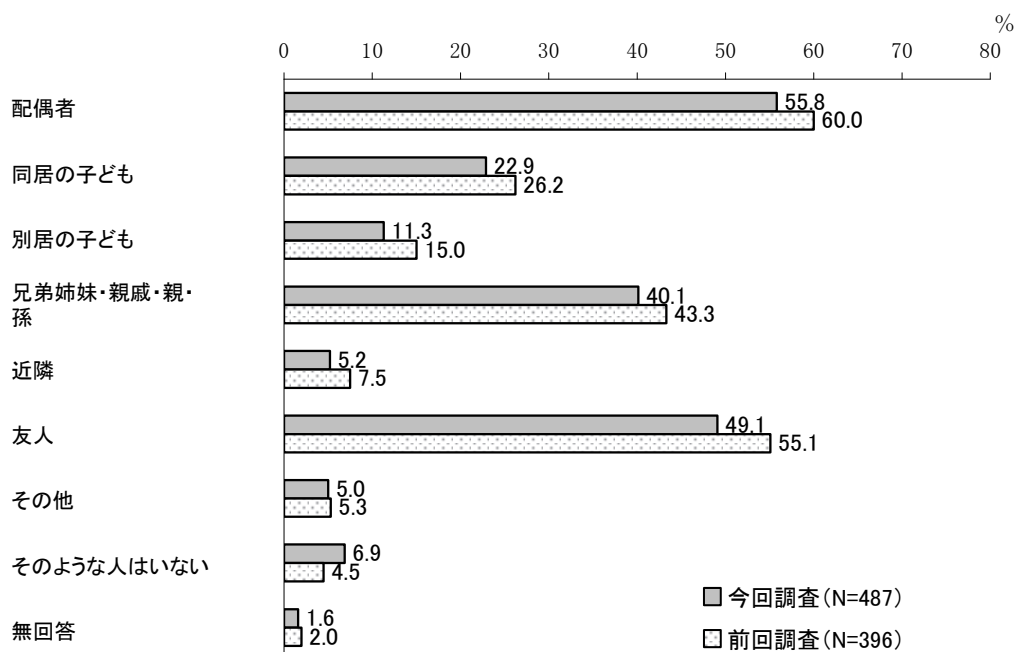
(5) たすけあいの状況

問6 Q5. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
 <①から④までそれぞれあてはまるものすべてに○>

① あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が55.8%で最も高く、次いで「友人」が49.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が40.1%となっています。

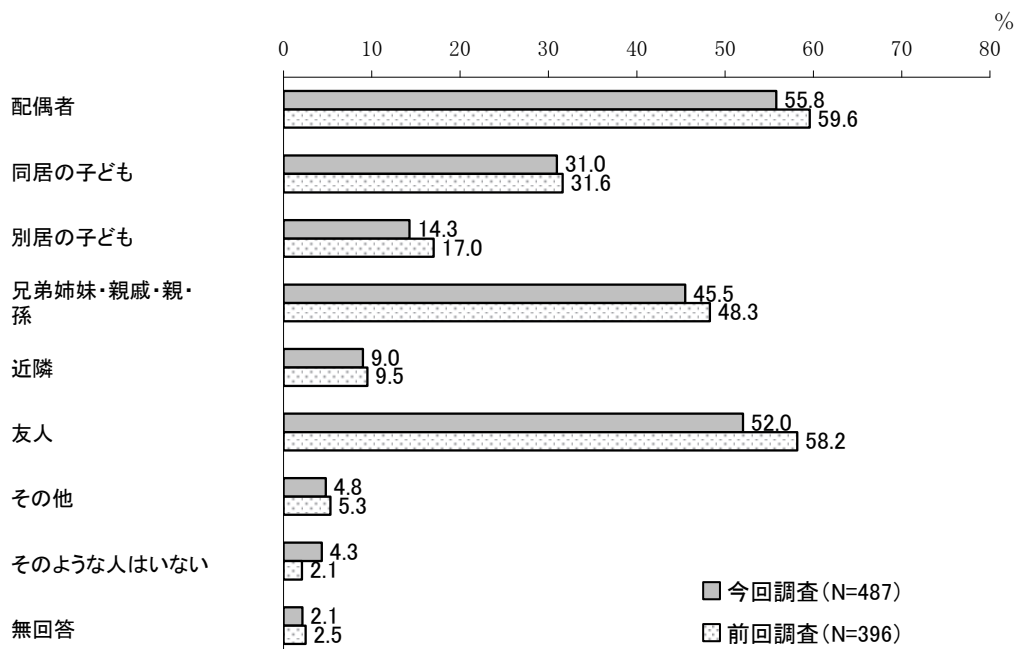
前回調査と比較すると、「友人」が6.0ポイント減少しています。



② 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が55.8%で最も高く、次いで「友人」が52.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が45.5%となっています。

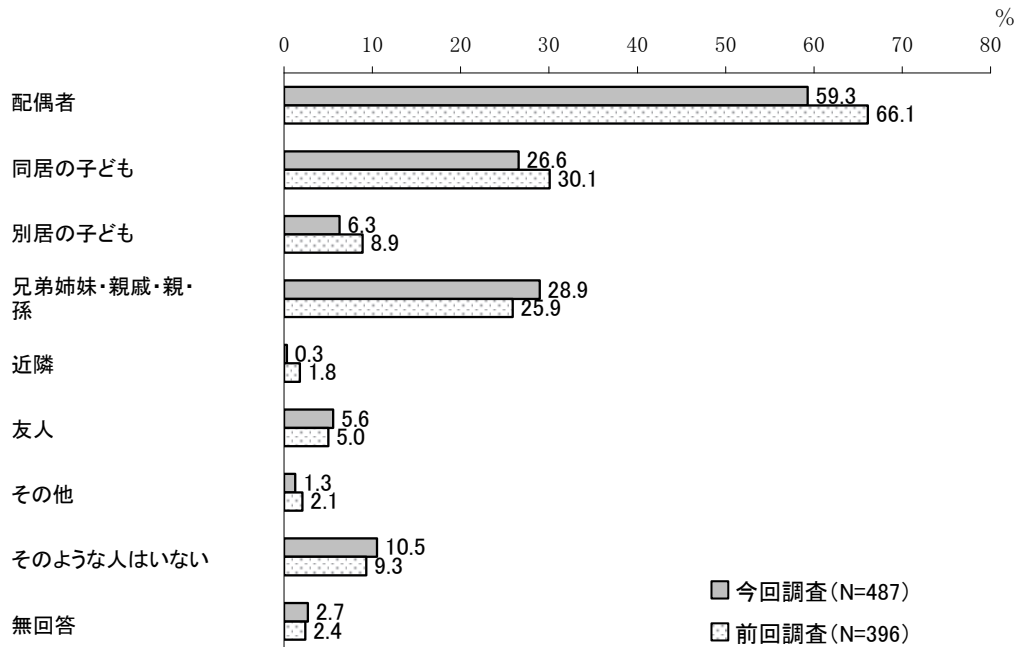
前回調査と比較すると、「友人」が6.2ポイント減少しています。



③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が59.3%で最も高く、次いで「同居の子ども」が26.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.9%となっています。

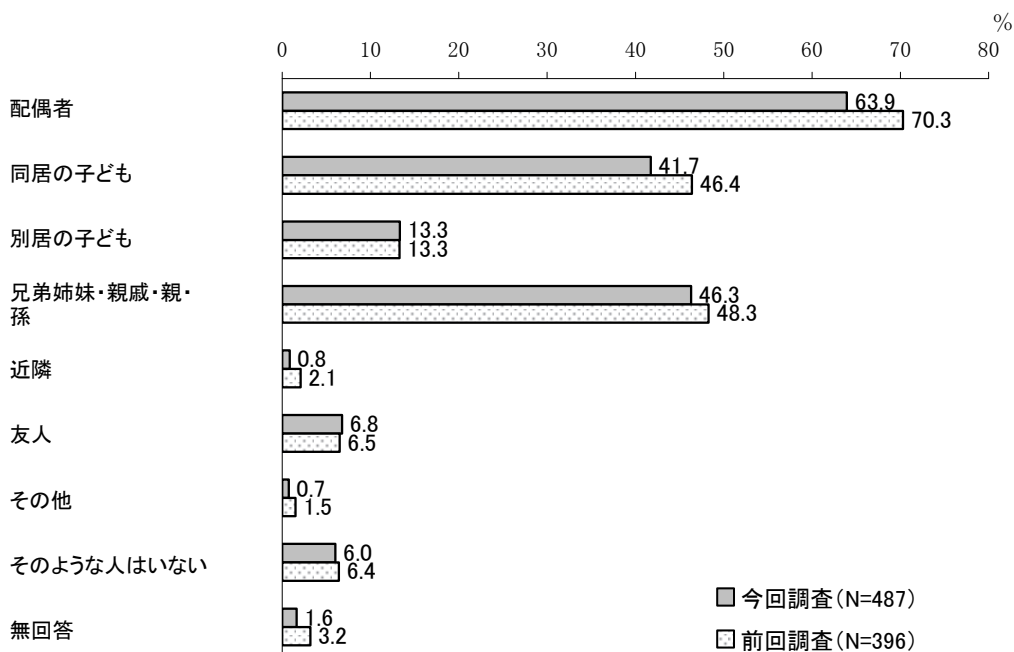
前回調査と比較すると、「配偶者」が6.8ポイント減少しています。



④ 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が63.9%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が46.3%、「同居の子ども」が41.7%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者」が6.4ポイント減少しています。

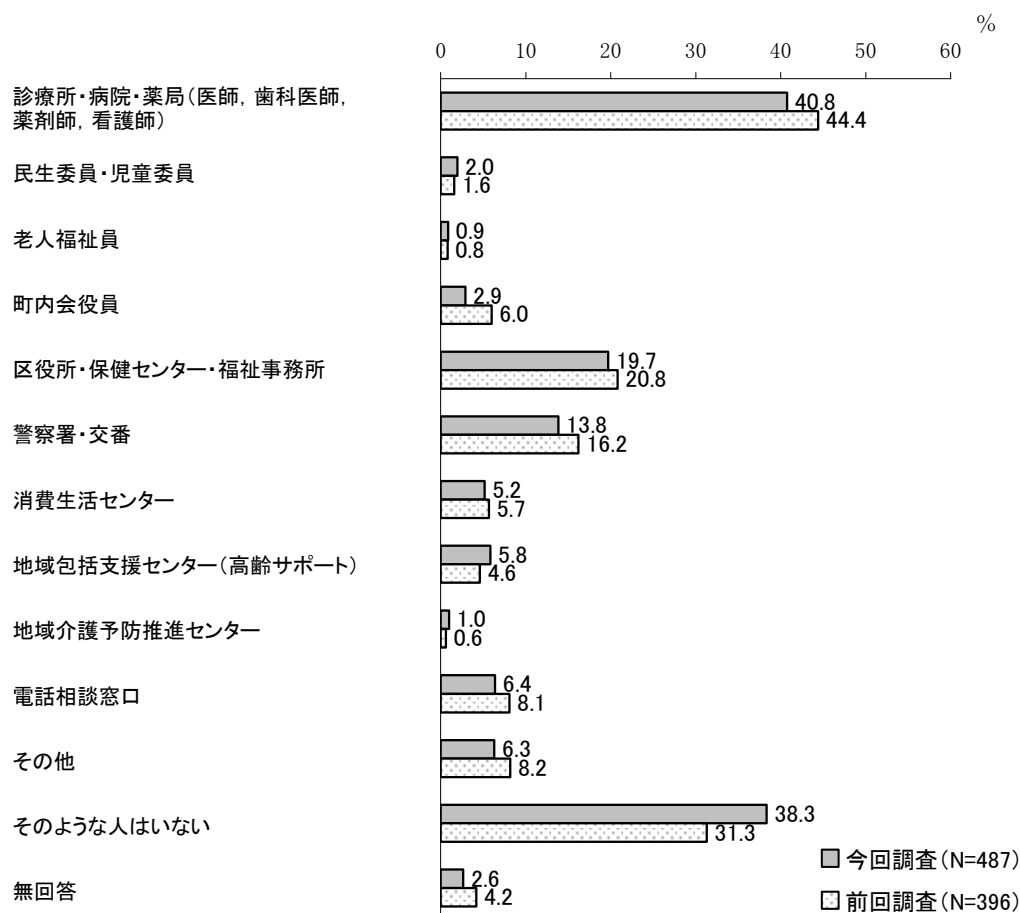


(6) 家族や友人・知人以外での相談相手

問6 Q6. あなたが家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。〈あてはまるものすべてに○〉

家族や友人・知人以外での相談相手については、「診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」が40.8%で最も高く，次いで「そのような人はいない」が38.3%，「区役所・保健センター・福祉事務所」が19.7%となっています。

前回調査と比較すると，「そのような人はいない」が7.0ポイント増加しています。

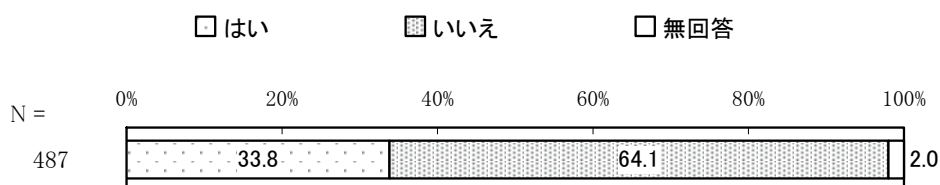


(7) 地域包括支援センターの認知状況

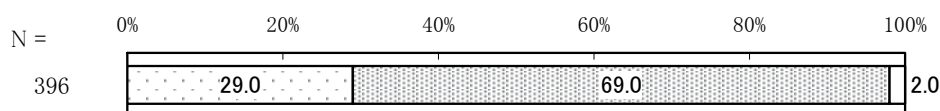
問6 Q7. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。
 <〇は1つ>

地域包括支援センターの認知状況については、「はい（知っている）」が33.8%、「いいえ（知らない）」が64.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

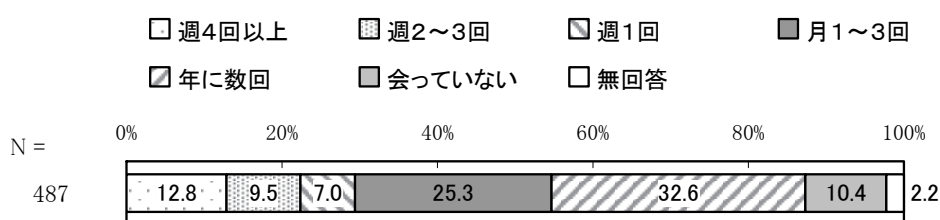


(8) 友人関係

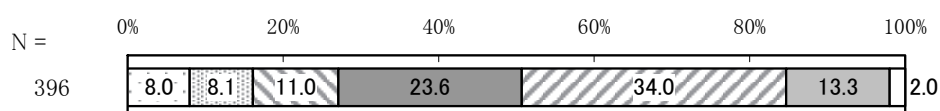
問6 Q8. あなたの友人関係についておうかがいします。
 (1) あなたが友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。<〇は1つ>

友人と会う頻度については、「年に数回」が32.6%で最も高く、次いで「月に1～3回」が25.3%、「週4回以上」が12.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



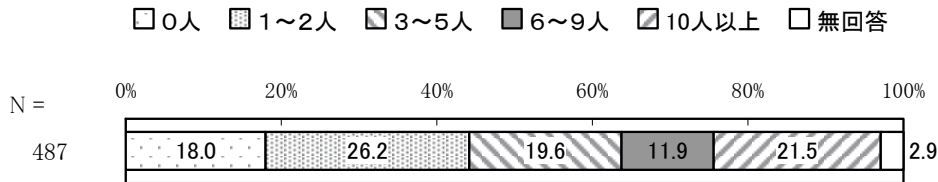
【前回調査（平成25年）】



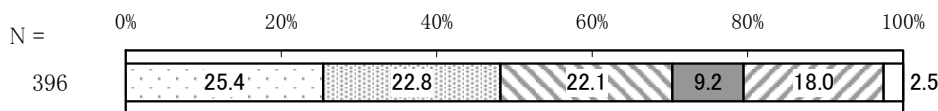
(2) あなたはこの1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。〈〇は1つ〉

この1ヶ月の間に会った友人の人数については、「1～2人」が26.2%で最も高く、次いで「10人以上」が21.5%、「3～5人」が19.6%となっています。

前回調査と比較すると、「0人」が7.4ポイント減少しています。



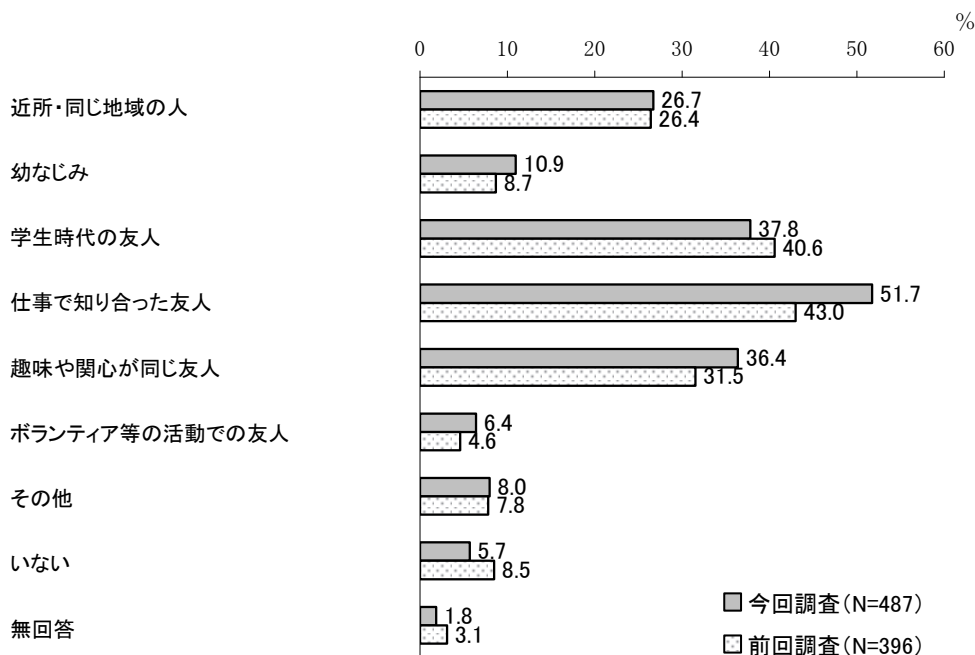
【前回調査 (平成 25 年)】



(3) あなたがよく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。〈あてはまるものすべてに〇〉

よく会う友人との関係については、「仕事で知り合った友人」が51.7%で最も高く、次いで「学生時代の友人」が37.8%、「趣味や関心が同じ友人」が36.4%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事で知り合った友人」が8.7ポイント増加しています。



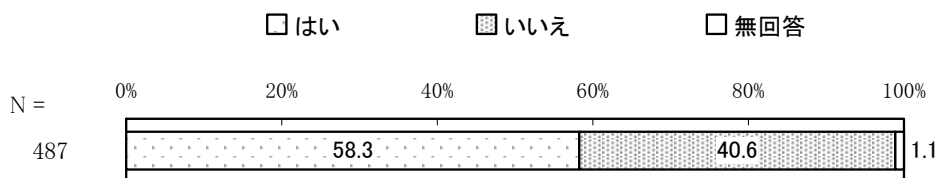
8 高齢者との関わりについて

(1) 高齢の親や祖父母との同居経験の有無

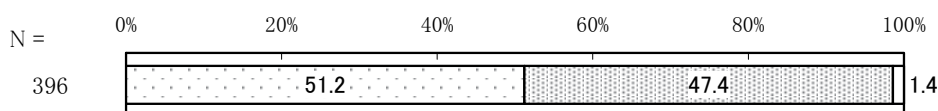
問7Q1. あなたは高齢の親や祖父母との同居経験がありますか。〈〇は1つ〉

高齢の親や祖父母との同居経験の有無については、「はい(ある)」が58.3%、「いいえ(ない)」が40.6%となっています。

前回調査と比較すると、「はい(ある)」が7.1ポイント増加しています。



【前回調査(平成25年)】

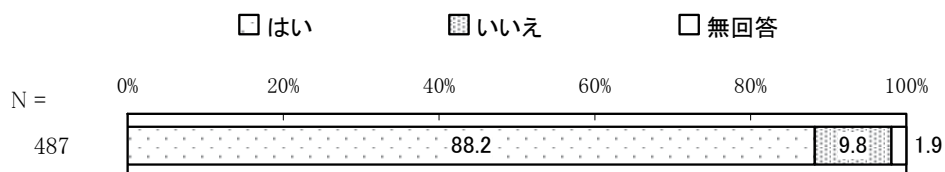


(2) 別居している親や祖父母と行き来したことの有無

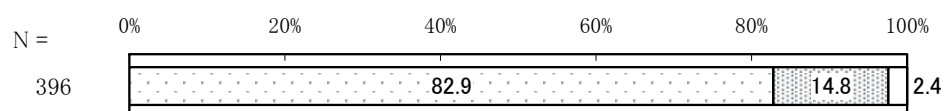
問7Q2. あなたは別居している親や祖父母と行き来したことがありますか。〈〇は1つ〉

別居している親や祖父母と行き来したことの有無については、「はい(ある)」が88.2%、「いいえ(ない)」が9.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい(ある)」が5.3ポイント増加しています。



【前回調査(平成25年)】

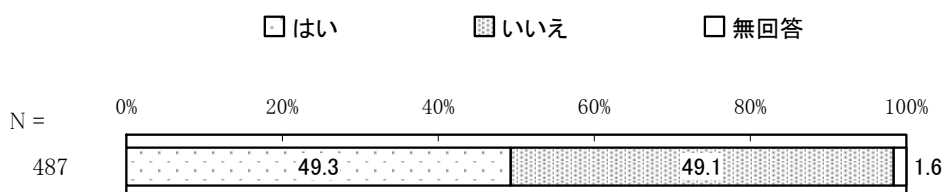


(3) 職場で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無

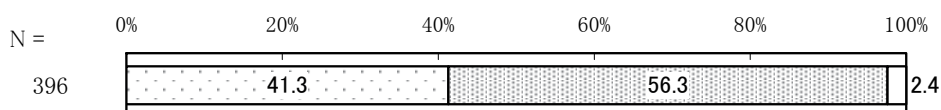
問7 Q3. あなたは職場で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。
 <〇は1つ>

職場で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無については、「はい（ある）」が49.3%、「いいえ（ない）」が49.1%となっています。

前回調査と比較すると、「はい（ある）」が8.0ポイント増加しています。



【前回調査（平成25年）】

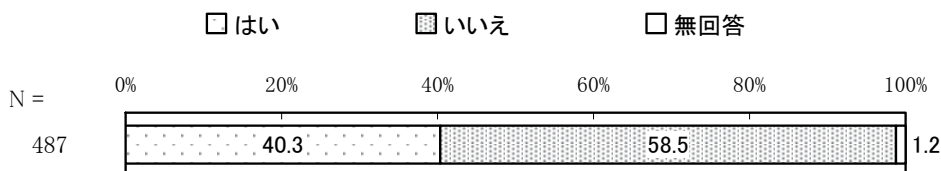


(4) 地域で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無

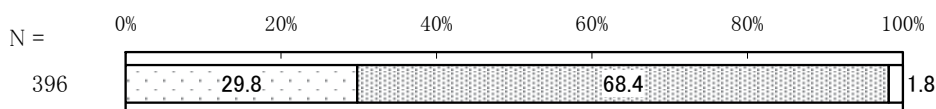
問7 Q4. あなたは地域で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。
 <〇は1つ>

地域で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無については、「はい（ある）」が40.3%、「いいえ（ない）」が58.5%となっています。

前回調査と比較すると、「はい（ある）」が10.5ポイント増加しています。



【前回調査（平成25年）】

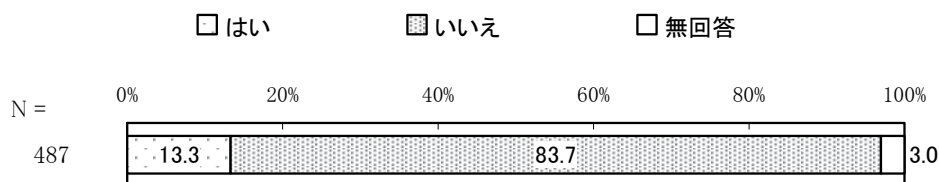


(5) ボランティア活動などでの高齢者との交流経験の有無

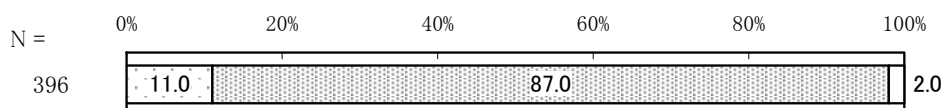
問7Q5. あなたはボランティア活動などでの高齢者との交流がありますか。
 <〇は1つ>

ボランティア活動などでの高齢者との交流経験の有無については、「はい（ある）」が13.3%、「いいえ（ない）」が83.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

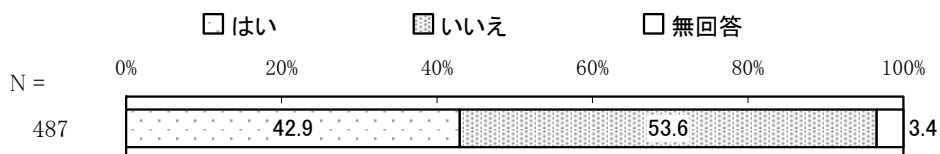


(6) 介護を必要とする高齢者を世話した経験の有無

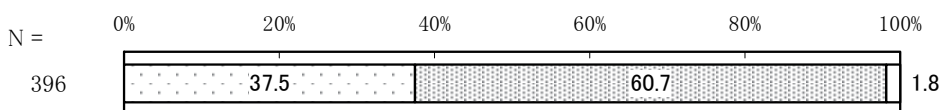
問7Q6. あなたは介護を必要とする高齢者を世話した経験がありますか。
 <〇は1つ>

介護を必要とする高齢者を世話した経験の有無については、「はい（ある）」が42.9%、「いいえ（ない）」が53.6%となっています。

前回調査と比較すると、「はい（ある）」が5.4ポイント増加しています。



【前回調査（平成25年）】

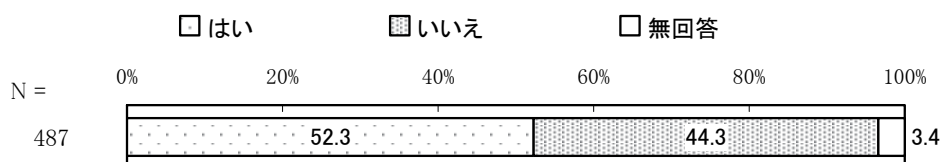


(7) 人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流経験の有無

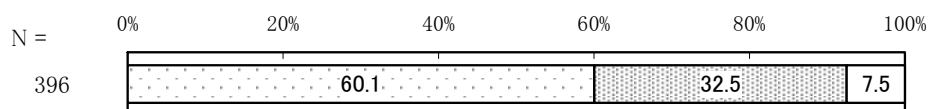
問7Q7. あなたは人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流を経験したことがありますか。〈〇は1つ〉

人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流経験の有無については、「はい(ある)」が52.3%、「いいえ(ない)」が44.3%となっています。

前回調査と比較すると、「はい(ある)」が7.8ポイント減少しています。



【前回調査 (平成25年)】

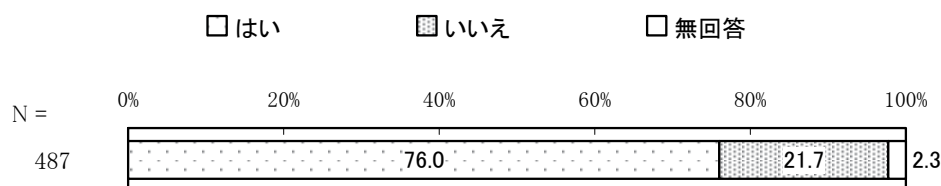


(8) 本・テレビを通じて高齢者問題を考えた経験の有無

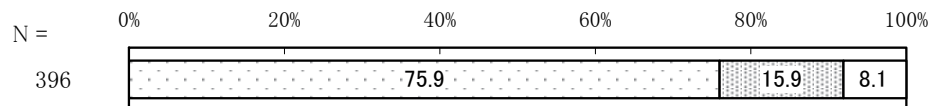
問7Q8. あなたは本, テレビを通じて高齢者問題を考えたことがありますか。〈どちらかに〇〉

本・テレビを通じて高齢者問題を考えた経験の有無については、「はい(ある)」が76.0%、「いいえ(ない)」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ(ない)」が5.8ポイント増加しています。



【前回調査 (平成25年)】

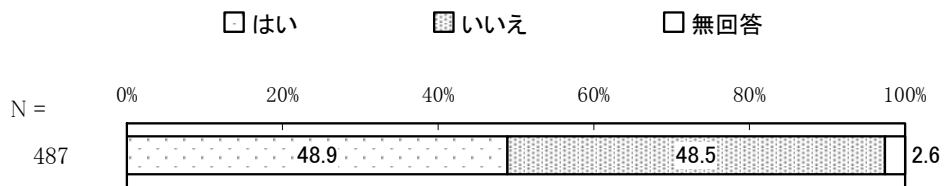


(9) 認知症の方と関わった経験の有無

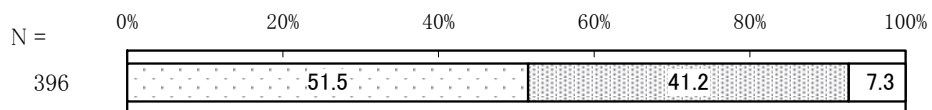
問7 Q9. あなたは認知症の方と関わった経験がありますか。〈どちらかに○〉

認知症の方と関わった経験の有無については、「はい（ある）」が48.9%、「いいえ（ない）」が48.5%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ（ない）」が7.3ポイント増加しています。



【前回調査（平成25年）】



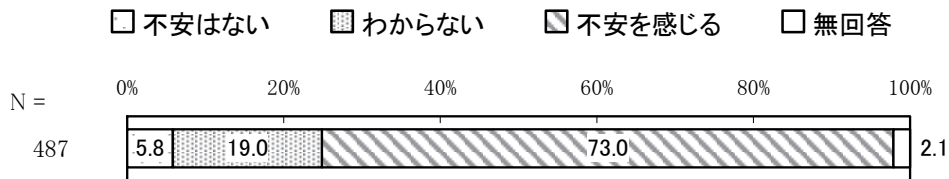
9 高齢期について

(1) 老後の生活に対する不安の有無

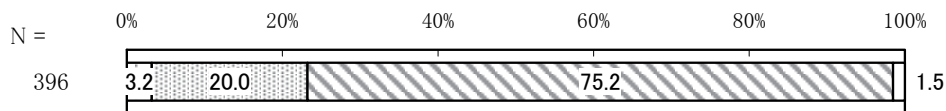
問8Q1. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。〈〇は1つ〉

老後の生活に対する不安の有無については、「不安を感じる」が73.0%で最も高く、次いで「わからない」が19.0%、「不安はない」が5.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】

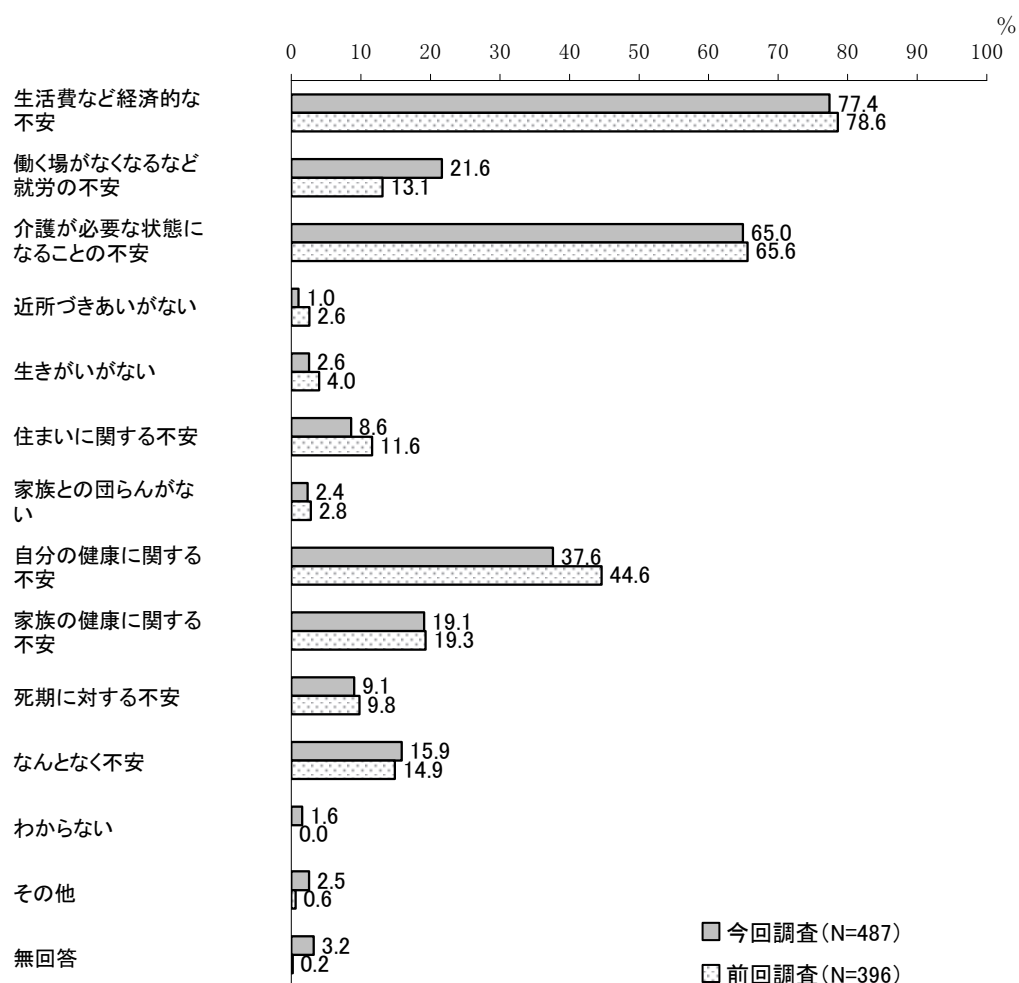


(2) 老後の生活に対する不安の内容

問8 Q1-1. Q1で「3. 不安を感じる」と回答した方にお聞きします。
 どんなことに不安を感じますか。〈〇は3つまで〉

老後の生活に対する不安を感じると回答した人に、その内容についてたずねたところ、「生活費など経済的な不安」が77.4%で最も高く、次いで「介護が必要な状態になることへの不安」が65.0%、「自分の健康に関する不安」が37.6%となっています。

前回調査と比較すると、「働く場がなくなるなど就労の不安」が8.5ポイント増加しています。一方、「自分の健康に関する不安」が7.0ポイント減少しています。

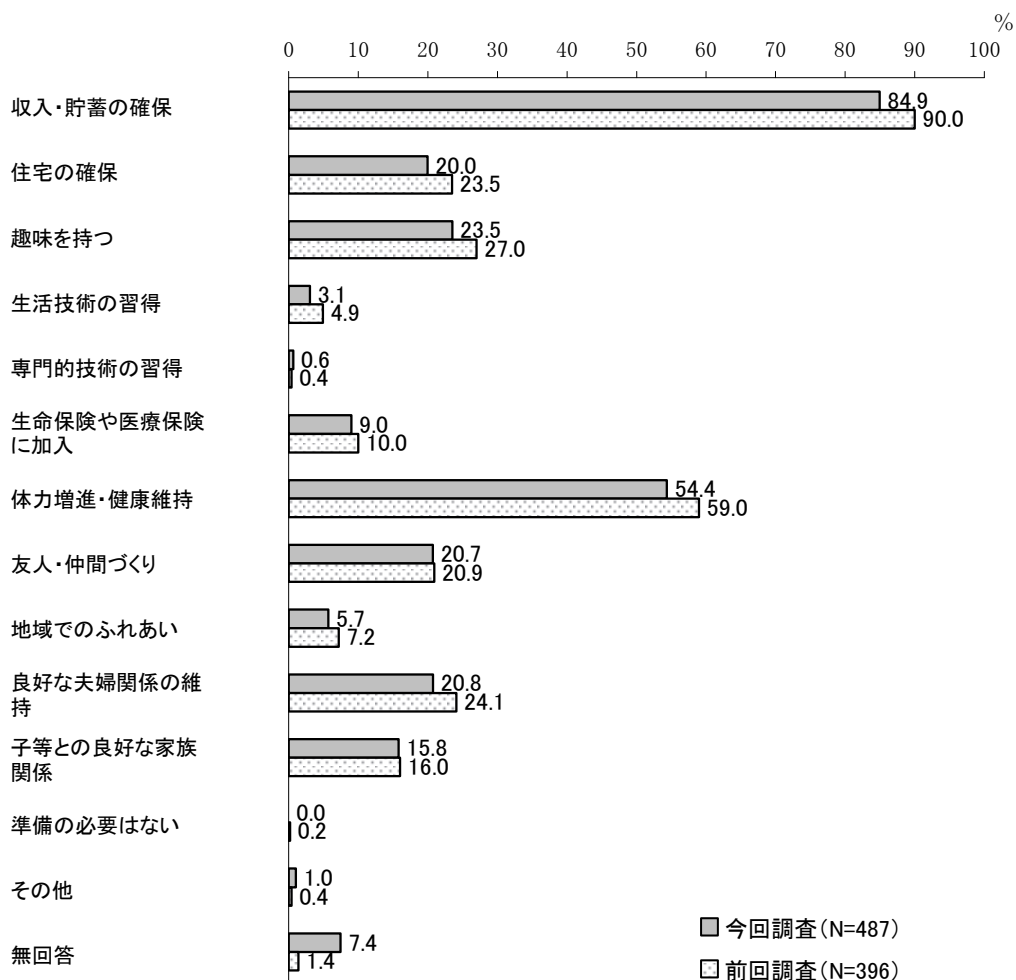


(3) 老後のための準備として必要なもの

問8 Q2. あなたは老後のための準備として必要なものは何だと思いませんか。
 <〇は3つまで>

老後のための準備として必要なものについては、「収入・貯蓄の確保」が84.9%で最も高く、次いで「体力増進・健康維持」が54.4%、「趣味を持つ」が23.5%となっています。

前回調査と比較すると、「収入・貯蓄の確保」が5.1ポイント減少しています。

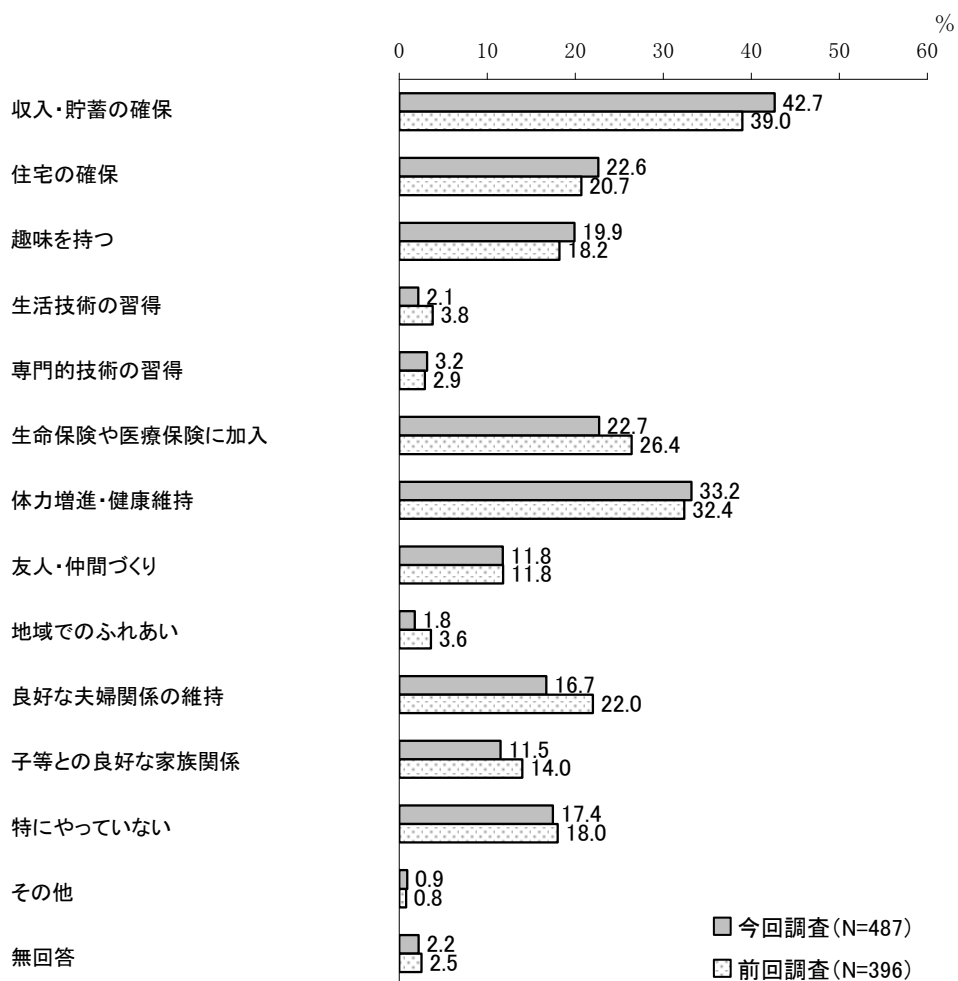


(4) 老後のための準備としてすでにしていること

問8 Q3. あなたは老後のための準備として、現在すでにしていることはありますか。
 <〇は3つまで>

老後のための準備としてすでにしていることについては、「収入・貯蓄の確保」が42.7%で最も高く、次いで「体力増進・健康維持」が33.2%、「生命保険や医療保険に加入」が22.7%となっています。

前回調査と比較すると、「良好な夫婦関係の維持」が5.3ポイント減少しています。

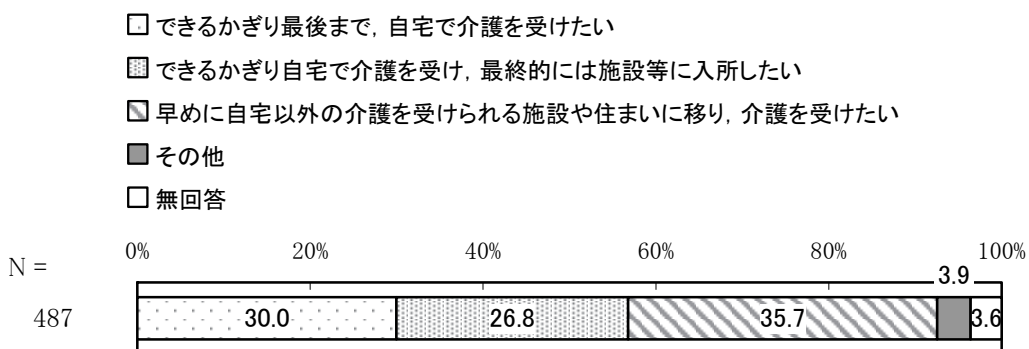


(5) 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所

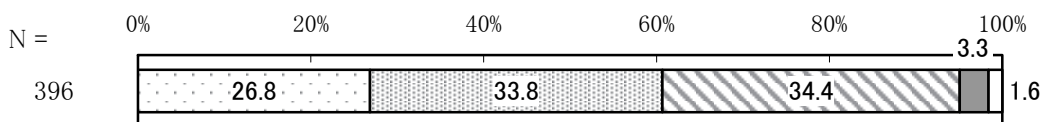
問8 Q4. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。
 <〇は1つ>

介護が必要になった場合の介護を受けたい場所については、「早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい」が35.7%で最も高く、次いで「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が30.0%、「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」が26.8%となっています。

前回調査と比較すると、「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」が7.0ポイント減少しています。



【前回調査（平成25年）】

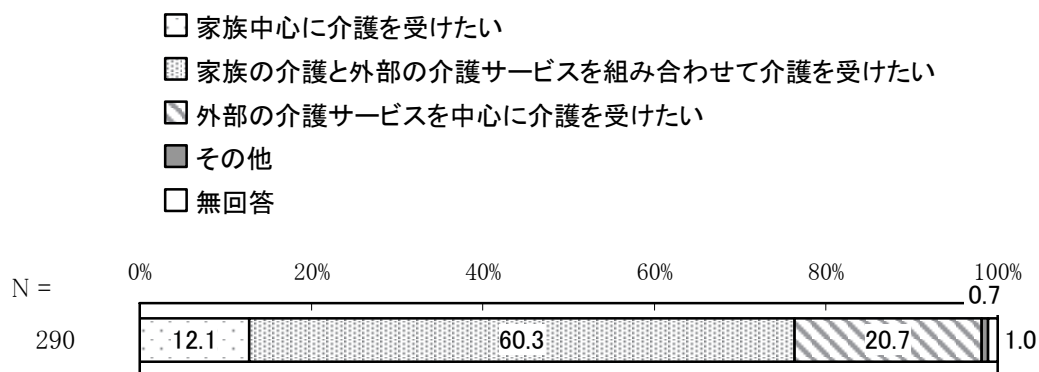


(6) 希望する介護形態

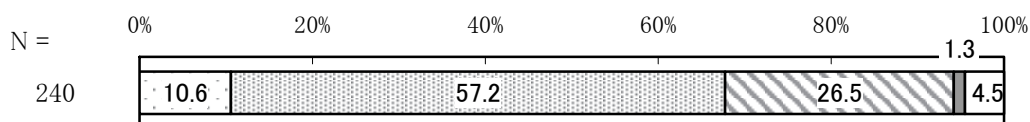
問8 Q4-1. Q4で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。
 <〇は1つ>

できるだけ自宅で介護を受けたいと回答した人に、希望する介護形態についてたずねたところ、「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が60.3%で最も高く、次いで「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が20.7%、「家族中心に介護を受けたい」が12.1%となっています。

前回調査と比較すると、「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が5.8ポイント減少しています。



【前回調査 (平成 25 年)】

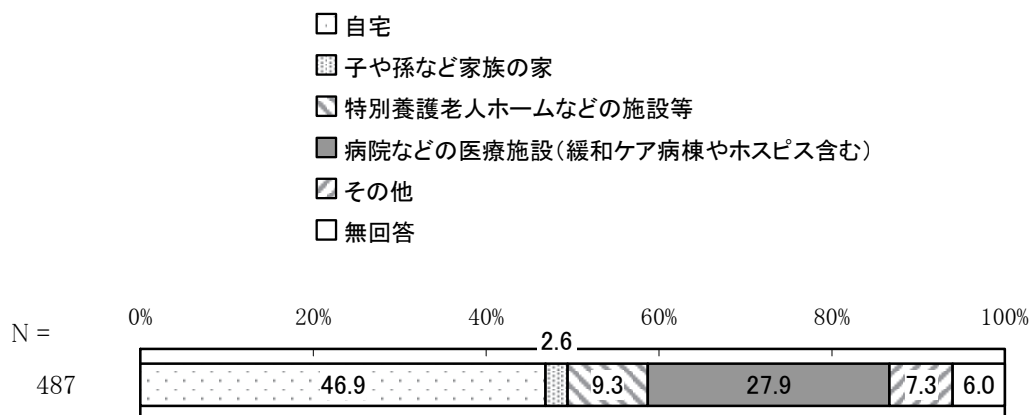


(7) 終末を迎えたい場所

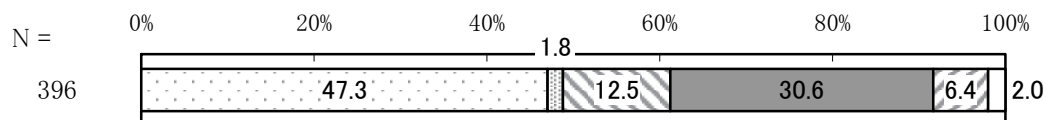
問8Q5. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。〈〇は1つ〉

終末を迎えたい場所については、「自宅」が46.9%で最も高く、次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が27.9%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が9.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回調査（平成25年）】



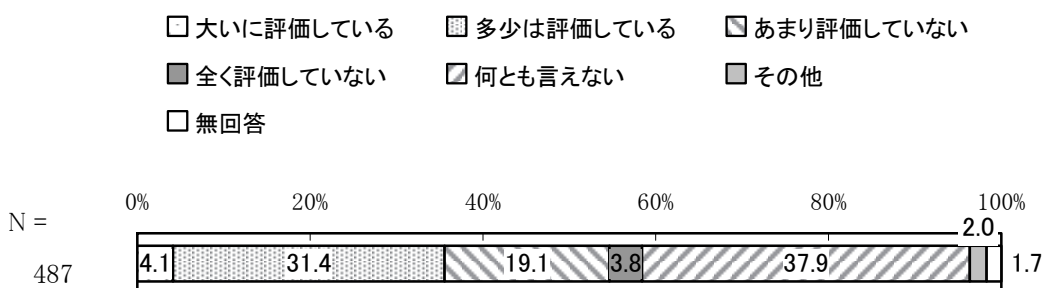
10 介護保険制度について

(1) 介護保険制度に対する評価

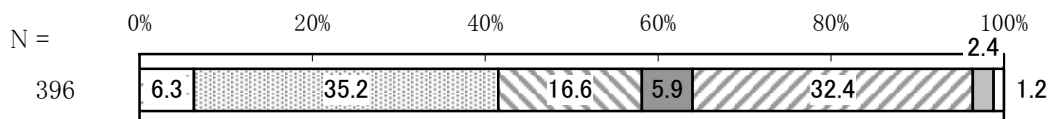
問9 Q1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。〈〇は1つ〉

介護保険制度に対する評価については、「何とも言えない」が37.9%で最も高く、次いで「多少は評価している」が31.4%、「あまり評価していない」が19.1%となっています。「大いに評価している」と「多少は評価している」を合わせた“評価している”の割合は35.5%、「あまり評価していない」と「全く評価していない」を合わせた“評価していない”の割合は22.9%となっています。

前回調査と比較すると、「何とも言えない」が5.5ポイント増加しています。



【前回調査（平成25年）】

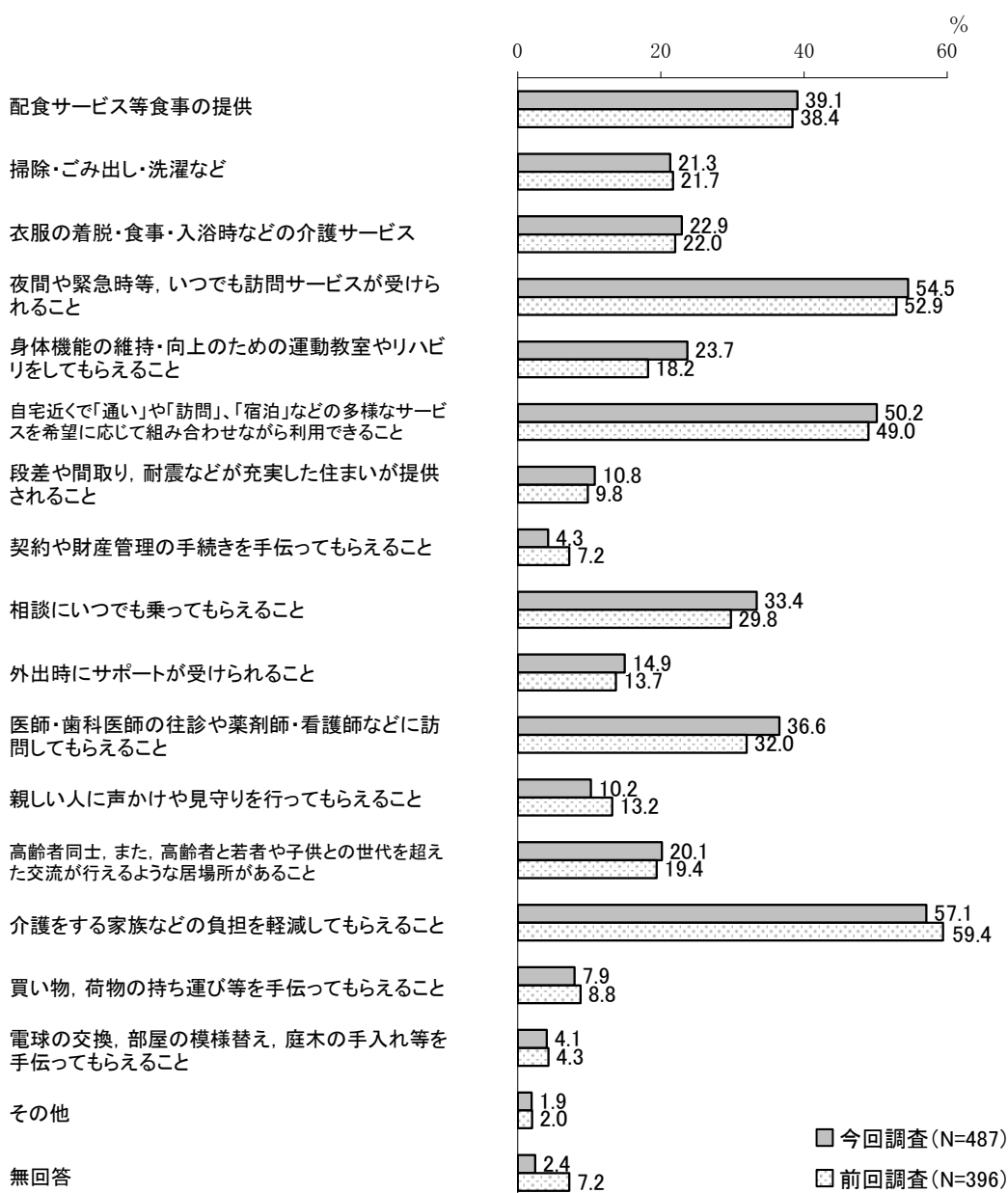


(2) 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援

問9 Q2. あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活をするには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。〈〇は5つまで〉

住み慣れた地域での継続生活のために充実すべき支援については、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が57.1%で最も高く、次いで「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が54.5%、「自宅近くで「通い」や「訪問」、「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること」が50.2%となっています。

前回調査と比較すると、「身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること」が5.5ポイント増加しています。



(3) 介護保険料と介護サービスの在り方に関する考え方

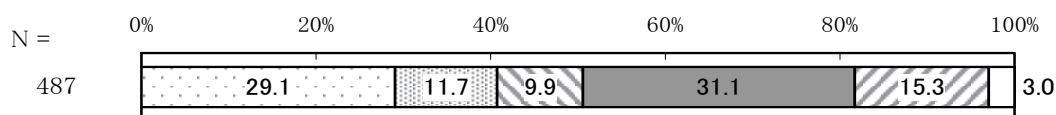
問9 Q3. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。〈○は1つ〉

介護保険料と介護サービスの在り方に関する考え方については、「わからない」が31.1%で最も高く、次いで「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」が29.1%、「現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない」が11.7%となっています。

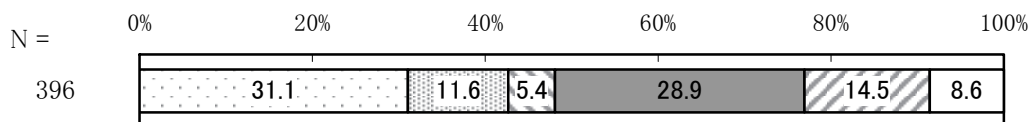
前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

介護保険制度に対する評価別でみると、「大いに評価している」と「多少は評価している」は、「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」で40%以上と高くなっています。

- 1 現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない
- 2 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない
- 3 保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない
- 4 わからない
- 5 その他
- 無回答



【前回調査（平成25年）】



【介護保険制度に対する評価別】

- 1 現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない
- 2 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない
- 3 保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない
- 4 わからない
- 5 その他
- 無回答

